

# 私の事はあたりまえに自分で決めたい。 手伝ってね！！ Ver. 6

「障がい者福祉施設・事業所における

障がいある利用者への意思決定支援実例集」



(イラスト：社会福祉法人安積愛育園 GH ポルタ 利用者)

(2021 年) 令和 3 年 3 月

福島県知的障害者福祉協会

人権・倫理委員会

# も く じ

## あいさつ

福島県知的障害者福祉協会 会長 渡部 良喜 . . . . . P 1

はじめに 人権・倫理委員会委員長 品川 寿仁 . . . . . P 2

実例調査の概要 . . . . . P 4

実施された「障がいある利用者への意思決定支援実例」用紙 . . . . . P 5

## 【意思決定支援実例の結果】

カテゴリー分け要素説明 . . . . . P 6

### I 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例 A

- ① 日中活動系 . . . . . P 12
- ② 児童系 . . . . . P 23
- ③ 就労系 . . . . . P 28
- ④ 居住系 . . . . . P 35

### II 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例 B

- ① 日中活動系 . . . . . P 49
- ② 児童系 . . . . . P 59
- ③ 就労系 . . . . . P 65
- ④ 居住系 . . . . . P 72

## カテゴリー分類図

成功実例カテゴリー分類図 . . . . . P 82

失敗実例カテゴリー分類図 . . . . . P 84

5年間のカテゴリー分類比較図 . . . . . P 86

人権・倫理委員による編集後記 . . . . . P 88

# あ い さ つ

人が人として生きる権利をわが国では、日本国憲法の三原則の一つとして、第11条で「国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。」として、基本的人権の尊重を謳っております。基本的人権には、「平等権・自由権・社会権・参政権・請求権」の5つがあり、平等権とは、差別されない権利。つまり、性別や年齢、障がいの有無等によって差別されることなく、平等に扱われる権利を憲法が保障しているのです。他に自由権は、日本で定められた法律の範囲内であれば個人の自由を保障した権利です。自由権の中には、思想や宗教、学問や職業の選択の自由等様々な自由があり、その結果として私たちは自由に生活を送ることが出来るのです。社会権については、子供が学校で教育を受けられる権利（義務教育）や、全ての国民は健康で文化的な最低限の生活ができる権利を有するとなっております。他に参政権・請求権等ありますが、全ての国民一人一人が平等に持っている権利です。

障害が有る無しに関わらず全ての国民が権利として有している人権について、憲法が保障している中で、障がい者に対する権利侵害は未だに無くならない現状には障がい者福祉に携わる者として憤りを禁じ得ないところです。日本国憲法の基に障がい者に対する障害者基本法があり、その中で障がいを持っている方への合理的配慮や本人の意思を表出し尊重した内容のサポートを行うがための意思決定支援が行われなくてはならないのです。当事者の人権を守る上では本人の意思を確認することが重要となり、本人の意思をくみ取る上で合理的配慮が必要となっております。

私たちは人を相手にしている仕事です。工場のように機械が物を製造し、コンピューターがそれを管理するような画一的な仕事ではありません。その為に日々様々な事が起きます。同じような事が起きることはあっても、同じことが二度と起こらないのも事実です。学校で専門的に障がいについて学習してきた方も、支援現場に就いてみて勉強してきたことと違う事や初めて経験する事に戸惑う方もいるだろうし、5年10年と経験した中で改めて感じる事もあるかとも思います。だからこそ従事する側の資質が問われているのです。誰にでも出来そうであるが誰にでも出来ない業務。そこに従事する方にはそれだけのプライドを持って業務に遂行していただきたいと思います。誰にでも出来ないと思われる仕事をそれでも選んで頂いたからには、誰にでも出来るようにしなくてはならないと思います。

本事例集は、福島県知的障害者福祉協会が取り組みを開始して6年目を迎えます。成功事例もあれば上手くいかなかった事例もあります。全ての事業所において日々奮闘して業務に携わる職員一人一人が、支援する際のバイブルとして活用し参考として頂ければ幸いです。

福島県知的障害者福祉協会  
会 長 渡部良喜

# はじめに

「意思決定支援事例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～Ver.6」が今年も完成いたしました。例年であれば冊子化し会員事業所のスタッフ一人ひとりにお届けしておりましたが、コスト削減や資源節約、ダウンロード版の普及により本年より本協会ホームページへのWEB掲載のみとなりました。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

また、事例集作成にあたり福島県内の施設・事業所職員の皆様から意思決定支援の実例が今回は185件のご提出がなされ、Ver.1から延べ1159件のデータとなりました。県内各事業所の皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。

さて、この事例集作成のプロセスにおいては様々な事例に触れ、議論を重ね、様々な支援や観点に触れる事が何よりも意思決定支援の実現へ向けた研鑽の機会でした。しかしながら、新型コロナウイルスの感染対策や予防の日々に追われ、これまで同様の人権・倫理委員会活動が行えない中での作成となり事例集作成のプロセスを正しく踏めず十分な議論・検証が重ねられない状況で作成しております。

その様な状況下ではありましたが、今回の事例集Ver.6が作成できた背景には、これまでの事例集作成のノウハウと蓄積があった事が故と感じております。また、県内各事業所の皆さまからせっかくご提出いただいた事例を共有だけでもしなければという思いのみで進めてきました。

どうか各事業所にて本事例集を片手にスタッフ間で意思決定支援について議論して頂き、多くの事例に触れ、真の意思決定支援の糧になれば幸いです。

福島県知的障害者福祉協会  
人権・倫理委員会  
委員長 品川 寿仁

令和3年3月 現在

福島県知的障害者福祉協会 人権擁護委員会設置に関するアンケート  
 福島県内会員施設における人権擁護委員会設置箇所数 推移表

	H21年11月	H22年4月	H23年4月	H24年4月	H25年4月	H26年4月	H27年4月	H28年4月	H29年4月	H30年4月	H31年4月	R元年12月	R3年3月
設置済み	22	23	21	36	48	61	72	72	80	84	94	98	101
年度内設置予定	1	8	6	2	16	4	4	4	5	0	1	1	1
次年度以降設置予定	35	25	17	17	17	20	19	21	18	21	12	10	7
設置困難	5	5	3	3	2	1	1	2	0	1	5	3	4
設置出来ない	3	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0
予定なし	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
無回答	20	26	39	30	5	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	88	88	87	89	88	87	96	100	104	107	112	113	114

【令和3年3月現在 人権擁護委員会・虐待防止委員会等の各施設設置率 88.5 %】

## 調査の概要

### 目的

県内の各施設の皆様にご協力を頂き「意思決定支援の実例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～」の発行は6年目となりました。これまで冊子として配布してきましたが今年度からは(ダウンロード版)として皆さまにお届けする運びとなりました。この実例集は、県内に留まらず各都道府県や厚労省及び関係機関からも参考にしたいとのご要望が多くありました。「実践の中に真理あり」です。各施設の日常的な支援の実践や実例の中に、「意思決定支援」の様々な要素(カテゴリ)が凝縮されている事が、5年間の実例集で分析され可視化されました。

そこで、例年のとおり人権・倫理委員会では、「意思決定支援の実例」を各施設からご提供頂き、その類似性や特徴及び共通点を分析した実例集を作成いたしました。各事業所の職員一人ひとりが、日頃の支援を振り返り、実例の作成や実例をスタッフ間で協議することにより、今まで気づかなかった「発見」や、「改善策(統一的支援等)」が見出され、それにより、日常的に意思決定支援の実践が成される人的・物理的環境がととのいます。この一連の意思決定支援のプロセスこそが虐待を未然に防ぐ支援、並びに本人主体の積極的な人権擁護につながる良い機会になることを期待します。

### 1 調査対象

福島県知的障害者福祉協会加盟事業所におけるサービス管理責任者 等

### 2 調査方法

福島県知的障害者福祉協会 事務局よりメールにて依頼

### 3 依頼期間

令和2年10月1日(木)～11月13日(金)

### 4 依頼件数

114事業所(昨年度 113事業所)

### 5 回答件数

57事業所(昨年度63事業所)	成功実例	96件(昨年比 -33件)
	失敗実例	89件(昨年比 -20件)
	合計	185件(昨年比 -53件)

### 6 回答率

51%

(R1年度56% H30年度59% H29年度54% H28年度58% H27年度37%)

### 7 調査項目

- 1 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例
- 2 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例

令和2年10月1日

福島県知的障害者福祉協会  
会員・準会員 各位

福島県知的障害者福祉協会  
会長 渡部 良喜  
(公印省略)  
人権・倫理委員会  
委員長 品川 寿仁

## 福島県内の全会員事業所における 「障がいある利用者への意思決定支援実例集 Ver.6」作成について（依頼）

初秋の候、会員の皆様はますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

福島県人権・倫理委員会は「福島県内の障害者施設利用者への虐待を未然に防止し、人権が擁護された支援の周知と拡充及び安心して支援できる事業所体制の向上を図ること」を目的とし発足して、9年目となりました。令和元年12月現在、当協会会員113カ所中、98ヶ所に人権擁護委員会等が設置され、設置率87%となっています。今後は、各事業所で設置された人権擁護委員会等が職員誰もが話しやすく、討議しやすい環境にあるか、委員会の中身や質が問われます。各施設職員が障がいある利用者の方に対して、どんな時も「人権が護られた支援」を正々堂々と明るく、笑顔で出来るようにしたいものです。

さて、標記の件でございますが、平成27年度から県内の各施設の皆様にご協力を頂き「意思決定支援の実例集～私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね！！～」の冊子を発行させて頂いておりましたが、本年度につきましては冊子作成コストの都合上「本会ホームページへの掲載」となりました。

WEB掲載ではありますが、引き続き「意思決定支援の実例」を各施設からご提供頂き、Ver.6として実例集を作成いたしますので、「意思決定支援実例」の報告用紙にご記入頂き、メールにて11月13日までにご送信下さい。

事務局にて集計しホームページ掲載に向け準備を進めてまいりますので、ご協力のほど宜しくお願い致します。

(お問い合わせ先)

福島県人権・倫理委員会 事務局（あさかあすなろ荘内）  
担当 品川 高杉

TEL 024-947-7575

mail : asunaro@aiikuen.or.jp

## 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

意思決定支援を行う上では様々な要素（以下カテゴリー）が見られ尚且つ、複雑に絡み合っております。そのような中、福島県人権・倫理委員会では実例集作成にあたり、意思決定支援をする上でのカテゴリーを、これまでのデータに基づき、引き続き特徴ある10のカテゴリーに分け、分析を行いたいと考えております。

また、⑩の「その他」は本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場合等とします。

各実例のカテゴリー掲載順位につきましては実例の中で要素が強い順列でお願いいたします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.5」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現。
- ④意思形成支援・意思表出支援。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決める。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境があり、実現。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がある。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

## 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例につきましては、成功実例で分けた10の要素（以下カテゴリー）の反対と捉えマイナス（-）記号の表記で掲載しております。

なお、⑨の「家族や職員、周囲の人の都合が優先された。」につきましては、本人主体ではない意思決定の実例に該当するカテゴリーですので、マイナス記号の表記ではなく⑨の表記にしています。⑩の「その他」につきましては、本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場面等としました。

また、各実例のカテゴリー掲載順位につきましては、成功実例同様、要素が強い順列でお願いします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.5」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用していない。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認していない。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現していない。
- ④意思形成支援・意思表出支援をしてない。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境が無く、実現していない。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がない。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現ができていない。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

mail: [asunaro@aiikuen.or.jp](mailto:asunaro@aiikuen.or.jp)

## 施設・事業所における「意思決定支援実例」報告用紙

事業種別 \_\_\_\_\_

(送信日 令和2年 月 日)

事業所名 \_\_\_\_\_

サービス管理責任者・氏名 \_\_\_\_\_

## 【作成までの手順】

- ① 全職員（全職種）から意思決定支援の成功・失敗実例を各々1事例作成してもらい、サビ管に提出して頂く。
- ② 全事例の中から特徴あり、分かり易い実例を、職員会議等で2～3の実例に絞って下さい。
- ③ 選択された実例をサビ管中心にその成功・失敗のポイントに下線を引き、成功実例は別紙1（カテゴリー分け要素）の①～⑩の中からカテゴリーを選択、失敗実例は別紙2からカテゴリーを選択し、職員会議等で協議します。
- ④ 事業所内で検討された成功・失敗の実例を各2実例ずつ挙げ、最後に集計状況欄を記入していただき人権・倫理委員会事務局に 11月13日までメールでご提出下さい。

## 【記入上のご留意】

- ① 過去に実際行われた支援で、分かり易い成功・失敗を各2実例ご記入お願いします。
- ② Aさん、Bさんの様に、利用者・職員が特定できない様にご記入下さい。
- ③ 成功実例・失敗実例判断、及びカテゴリーの要素が強い順に3つ以内選び、その判断は貴施設にお任せ致します。
- ④ 文章の文字に制限はありません。配慮出来た・困難だったポイントは箇条書きで記入下さい。
- ⑤ 作成については実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.5」をご参照下さい。

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-1.

【配慮出来たポイント及び考察 等】

.  
.**事業所判断ポイントカテゴリー**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-2.

【配慮出来たポイント及び考察 等】

.  
.**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-1.

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・
- ・
- ・

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-2.

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・
- ・
- ・

**事業所判断ポイントカテゴリー**

【集計状況欄】

成功実例： 全部で\_\_\_\_\_件集まり \_\_\_\_\_件提出。

失敗実例： 全部で\_\_\_\_\_件集まり \_\_\_\_\_件提出。

【ご記入ありがとうございました。】

※ 報告用紙にご記入の上、11月20日(金)までにメールに添付して、人権・倫理委員会事務局（あすなろ荘内）まで上記返信用メールアドレスへ、ご送信下さい。

※ 実例集作成にあたりましてご記入いただきました内容は、アンケートの集計のみに使用し、処理・集計の目的以外では使用いたしません。また、分析結果の公表時等において施設・事業所が特定されないよう留意致します。

# 意思決定支援実例の結果

## ① 本人の意思決定支援が出来た成功実例

- ・ 日中活動系 . . . . . P 12
- ・ 児童系 . . . . . P 23
- ・ 就労系 . . . . . P 28
- ・ 居住系 . . . . . P 35

## ② 本人の意思決定支援が困難だった失敗実例

- ・ 日中活動系 . . . . . P 49
- ・ 児童系 . . . . . P 50
- ・ 就労系 . . . . . P 65
- ・ 居住系 . . . . . P 72

## ③ 令和2年度 カテゴリー分類図

- ・ 成功実例 . . . . . P 82
- ・ 失敗実例 . . . . . P 84

## ④ 5年間のカテゴリー比較図 . . . P 86

# 本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例における 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

意思決定支援を行う上では様々な要素（以下カテゴリー）が見られ尚且つ、複雑に絡み合っております。そのような中、福島県人権・倫理委員会では実例集作成にあたり、意思決定支援をする上でのカテゴリーを、これまでのデータに基づき、引き続き特徴ある10のカテゴリーに分け、分析を行いたいと考えております。

また、⑩の「その他」は本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場合等とします。

各実例のカテゴリー掲載順位につきましては実例の中で要素が強い順列でお願いいたします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.5」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現。
- ④意思形成支援・意思表出支援。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決める。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境があり、実現。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がある。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

## 【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

A-1. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑦**

Bさん（男性、最重度、自閉症）

言葉での意思表示ができないBさんは、リハビリパンツを着用しており、2時間ごとに声かけしてトイレ誘導を行っていた。その際に排泄がなかったり、既にリハビリパンツに排泄していることもあった。定時排泄の声かけを継続しているうち、Bさん本人が「今は行きたくない」と思われるポーズや姿勢（足に力を入れて椅子から立とうとしない等）が見られたので、声かけは行いつつも本人の意思を尊重して見守った。自発的にソファや椅子から立ち上がる時があり、その際に改めてトイレ誘導の声かけをするとスムーズに移動し、トイレでタイミング良く排泄できる場面が増えてきている。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人がトイレに行きたくないというサインを読み取り、その意思を尊重することができた。
- ・本人がソファや椅子から立ち上がろうとするまで待って、声かけすることができた。
- ・トイレに連れて行かれるという受動的行動ではなく、自らトイレに行こうとする主体的行動の積み重ねが、トイレでタイミング良く排泄できる行為に繋がっていると思われる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

A-2. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑦ ⑧**

利用者の皆さんが楽しんでいたカラオケの機会が故障。使えなくなってしまっていた。利用者さんからは、カラオケがしたいとの声が聴かれていたが、職員が先回りをして購入するのではなく、本人の会（自治会）を通じて、事業所に要望書を出すことで意思表示ができる機会を設けた。要望書が出されたのち、カラオケの機械を新調し、意思実現にもつながった。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・意思表示が出来る機会を設けた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

A-3. **委員会考慮ポイントカテゴリー ①**

作業中に奇声を上げ落ち着かないTさん。作業自体も手につかなくなって

いたところ口頭での作業時間の説明、案内が中心だったが時間の説明をメモに書いて時間の案内をしたところ注意深く読んで作業に取り掛かることができた。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・理解ししやすいよう、時間とすることなど端的に文章化し提示することで行動に移すことができた。
- ・次の行動に結びつかなくても説明の手段として文章化し提示することで本人の理解度は増している様子がうかがえる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑦ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-4. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑦ ⑧**

Aさん（男性、中度、自閉症）

施設外の行事活動（「カラオケ」又は「調理実習」）で当初はカラオケを希望していたが、1週間前に行事活動の体制を伝えたところ苦手な利用者と一緒と知り、調理実習に変更した。しかし、行事活動前日になって落ち着かない様子が見られ、涙目で早退の希望があった。理由を口頭で聞いても筆談（iPadのメモ機能を使用）で聞いても「分からない」との返答だった。本人がしばらく一人でいた際に、独語で「苦手な為にこんな目にあった」「キャンセルはきかない」「行事活動には行けない」と話していた。その後、保護者が迎えに来て早退した。本人の独語の内容から、『行事活動で本当は「カラオケ」に行きたいが、一度「調理実習」に変更してしまった為に困っているのではないか』と本人の気持ちを推測して、自宅に電話して本人、保護者に再度変更も可能であることを伝えた。

行事活動当日になり直前までどちらにするか悩んでいたが、最終的には自分で「カラオケ」を選び、苦手な利用者ともカラオケの部屋を別にする事で参加できた。カラオケ中も事業所に戻ってからも表情良く過ごしていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人がうまく表現できない気持ちを、本人独自の表現方法（独語）から推測して対応した。
- ・推測した本人の不安から、その不安を少しでも取り除けるような環境設定をして、選択肢を再度提供できた。
- ・最終的に本人が決めるまで待つことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-5. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑥ ⑧**

対象利用者：Mさん 知的障害・自閉症 男性 20才

平成30年4月から当事業所を利用していたMさん。保護者から個別面談時「なぜ、休みがちになるのか？」と相談を受けていた。調べると、支援学校時代も休みがちだった。「休む理由が寝不足によるものが多い。週5日事業所に通うのが本人に負担なのでは」と言う事で、保護者と話し合い7月より水曜日を休みにして様子を見た。事業所の利用率が（4月～6月56%、9月10月82%）となり、休みが減り生活にリズムが出てきた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の様子（事業所の様子、家庭での様子）を保護者と話し合い、本人主体で利用を考え直した。
- ・支援学校時代の様子を検討した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-6. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ⑥**

夕食を食べるサポートをした時（ブライツ宿泊時）絵カードや写真を使ってメニューを聞いたところお寿司をじっと見る様子があり外食に反応する様子だった。行ったことがなかったが、サポート職員もいるため回転寿司に行った。自分からお皿を取ったり、何が食べたいか言うことはできないが、流れてくるお寿司をじっと見て目で追う様子があったため、職員が取って介助すると笑顔で食べられた。落ち着いて座っていられ、職員が終わったあとも笑顔が見られた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・カード、写真などを使って希望を聞けたところ。 ・本人の視線など様子を見て対応できたところ。
- ・初めての場所でもサポート職員がついて実現できるようにした。 ・本人が意思表示できた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-7. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑤**

外出活動の食事の希望を聞いた際、Aさん（男性）が味噌ラーメンを写真で選ばれたが、退勤時、父にそのことを話すと「味噌ラーメンは食べないからチャーシュー麺にしてください」と言われたが、以前の活動で味噌ラーメンを完食した話をすると、半信半疑で納得していた。当日は味噌ラーメンを完食した。父に話すと驚いて「俺の時はたべないんだよな」と話されていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・父の意見ではなく、本人の希望を優先できた。
- ・普段から様子を見ている職員と父のイメージとのギャップを埋めることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-8. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑤ ⑦**

ある日、「就労継続支援 B 型事業所に行きたい」と意思表示をした A さん。  
相談支援事業所が B 型アセスメントを受けるため、A さんと一緒に就労移行支援事業所の見学をした。その後、就労移行支援事業所で B 型アセスメントを受けることとなった。

A さんは、ご家族と〇〇事業所に見学したことがきっかけで就労継続支援 B 型事業所に通いたいとのお気持ちが芽生えた。数か月の時間をかけてご本人の思いを確認しながら、相談支援事業所やご家族と A さんの気持ちを共有しながら進めている。また、実際に B 型事業所で馴染めなかった場合に当事業所に戻ることができるよう環境整備をしておくことにしている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人に丁寧に聞き取りを行った。
- ・自身の気持ちを話しやすいよう環境を整え、対応した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-9. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑧ ⑨**

男性利用者 S さん（知的障害、脳性麻痺・言語障害あり、コミュニケーションはジェスチャーや筆談など）から「好意を抱いている女性利用者 Y さんに手紙を書いた。内容や文字がおかしくないか見てほしい」と相談を受ける。2 通りの手紙があり、1 つはテレビの内容が書かれている日常会話、1 つは「だいすきだよ」と書かれているものだった。本人の話聞いていくと「本当は「だいすきだよ」と書いた方を渡したい。自分の思いを伝えたい」と言う。S さんは過去にも若い女子利用者 2 名に好意を抱き手紙を渡し、1 人は両思いであることからお付き合いし、その後別れることがあった。今でもその時の写真（旅行で手を繋いで写っているもの）が園内のアルバムに貼ってあり、それを見ると気まずそうな顔をしている。本人に「だいすきだよ」と伝えるだけなのか？相手の気持ちを知りたいのか？聞くと、「Y さんの気持ちも知りたい」と言う。好きだと言われた方はどうしてよいかわからずに困ってしまうこともあること、もし過去のように両思いだとわかってお付き合いしたとしても、以前の様に周りの利用者が気を使い困ってしまうこと等話し、今良好な友達関係である Y さんに「だいすき」と伝えたことによって、かえって Y さんとの関係がぎくしゃくすることも考えられる、今の良好な関係も大事なのではないかと伝えた。自分の思いを人に伝えるのは大事なことではあるが、「だいすき」と伝えた後のことや、相手の気持ちなど、もう一度ゆっくり考えてみてから手紙を渡すか決めてみてはどうかと話した。翌日「色々考えて、やっぱりテレビ番組の話などを書いた方の手紙を渡します」と報告に来る。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

・S さんは「だいすき」と言う思いを伝えたいと気持ちが盛り上がっていたが、自分の思いを相手に伝えるということは大事であることを認めつつも、相手に伝えたことによってその後相手との関係性の変化や、集団生活の中で他の利用者に与える影響などを話し、もう一度冷静に考えてもらう時間を持つことができた。

### **事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-10. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑦**

取り組みたい作業があるが、細部の注意点への理解ができず、部品が散乱してしまう。作業机の上の箱の数を増やす、箱の大きさを大きくする等の作業環境を整える。本人の意思に沿って継続して作業への取り組みが出来た。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

### **事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-11. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑦ ⑧**

作業を行う場面で、A さんは準備をして、椅子に座らずに床で作業を始めた。椅子に座るように声かけを行ったが動く事は無く、座る場所を二択にして、A さんに選んで頂き、指定された場所へ椅子を移動すると A さんは、立ち上がり椅子に座り作業を始める事が出来た。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の座りたい位置の提案。
- ・二択にする事で選び易くなった。

### **事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑦ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-1 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥**

本人からのでの要求や要望を伝えてくるNさん、手紙を渡すのと同時に内容を読んで声で伝えて頂いていた。受け取る職員が、「他職員にもお願いしてみてください」との助言もあり、様々な職員に思いを伝えられるようになり、又、電話でも意思表示するようになり、本人の中で思いが叶わず、心にとどめて行動が滞る姿も少なくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人からの要望を必ず受け取り、伝えやすい状況を作った。
- ・本人の思いを出来る限り叶える事で、次に繋がられた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ⑥**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-1 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③**

感情の起伏が激しいMさん。誰にも相手にされない時間が続くと、大声・奇声を挙げたり、作業場の備品を投げたり、周囲の気を引こうとする行動が多い。表情が曇ってきて、相手を睨む目つきに変わるとそれらの行動が進展する。異変を感じたら直ぐに本人に寄り添って、思いや不満を聞き出すことで、安心して作業や生活に戻れるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-1 4. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ④**

音楽鑑賞の際、言葉による意思表示ができる B さんにリクエスト曲を尋ねたところ、なかなか言葉を発せずにしたため、紙に書いて伝えるように促すと、すぐに書き始めてリクエスト曲を伝えることができた。普段は言葉による意思表示をしていたが、今回の場面では紙に書いた方が本人には伝えやすかったようだ。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の様子を観察し、普段とは違う意思表示の方法を提供できた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ④**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-1 5. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑧**

余暇活動の一環として、Aさんは自分が希望したビーズ制作に取り掛かるが、数日後には「今日はやらない」と訴えるようになった。そこで、雑誌やインターネットなどを使用して、写真や映像を見てもらい、本人の希望を改めて確認すると、今度はパズルや絵画を希望し、自ら取り組むようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人が希望するものは日々変化することもあり、本人の様子を観察して柔軟に対応することができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑧ ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-16. **委員会考慮ポイントカテゴリ ② ⑤**

トイレに行く前に自らオムツに用をたしてしまうことがある。職員の声かけでも意地になって行かないこともあるため、トイレに行って用をたすことができたなら、好きなシールを台紙に貼る支援方法を行った。本人もシールを貼る楽しみもでき、職員の声かけで自分からトイレに行くことができるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・自らトイレに行くという行動の流れを作ることができた

**事業所判断ポイントカテゴリ ①**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-17. **委員会考慮ポイントカテゴリ ① ② ③ ⑦ ⑧**

タイミングが合わないと、自分のやること（送迎車に乗る・トイレへ行くなど）が止まってしまう利用者Kさん。声をかけた職員の違いやご本人のタイミングによって、顔を背けて静止したり動けたりする。ずっと動けずに失禁してしまったり、送迎車に乗れなかったりすることもあった。そこで、職員と母親がトイレや送迎者の名前のカードを準備してご本人に渡すことにした。自己管理することで、自分のタイミングでカードを差し出して徐々に動けることが多くなり、職員もご本人の意思を汲み取りやすくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・持ち物を大切に保管している普段の様子から、自分でカードを管理してもらい、気持ちを表しやすくなった

**事業所判断ポイントカテゴリ ① ② ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-18. **委員会考慮ポイントカテゴリ ② ④ ⑧**

意思表示は難しいが絵カードを提示すると活動を選ぶことが出来るAさん。

初めは、スタッフが選んだ3枚の活動カードから選んで頂くよう提示していた。

ある日、Aさんが3枚の活動カードから選ぶことに時間が掛かる事があった。「本当にやりたい活動が選択肢の中にないのではないか？」と思い、選択できるカードを5枚に増やした事で、活動をスムーズに選べるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・選択肢を増やした事で、活動をスムーズに選べるようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ② ④ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-19. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ③ ⑦ ⑧**

B様（自閉症、発語あり、二分節程度の言語・文章理解可能、筆記・読解可能、貼り絵・模写・刺し子や反復作業が得意） 創作活動（貼り絵や絵画等）の際、取り組む題材等の提案時にご本人が取り組みたい物を選んで頂いている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・実物見本や写真画像・イラストを2若しくは3種程度お見せして選んで頂いている。

・口頭質問の場合、質問を理解できない若しくはご本人にとって好ましくない提案の場合、エコラリアで応答する事がある為、ご本人の表情・口調・動作（歩調・ノッキング等）も併せて観た上でやりたい・やりたくないを判断している。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ⑥ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-20. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑦**

お気に入りの職員の気を引こうと床に寝転んだり座り込みをし、抵抗する態度を見せる。「してはいけません、早く戻りましょう」など否定的な声掛けでは全く動こうとしない。「動けるまで待っている」待ちの姿勢や黙って付き添いをするだけでも、様子を見ながら自分で立ち上がり席に戻ることが出来る。座ることが出来た後に称賛することで笑顔も見られた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・周りでうるさく言っても耳に入らない。要点のみを伝え、待つことで動くことが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-21. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑦**

以前は利用者全員（45名）で行っていた音楽活動には参加を拒む様子があったが、少人数で活動を進める事で、音楽活動に参加し、楽しむことが出来た。嫌な刺激（騒がしさ等）から何度か活動室と廊下やトイレを行き来し、クールダウンを図る様子がみられているものの、本人のタイミングで活動室に戻り、過ごすことが出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・マッチングを見ながら活動室を固定、少人数での活動を進めた事で、利用者さんの嫌悪刺激を減らす事ができ、活動に気持ちを向けられる環境となった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ④ ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-2 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑥ ⑦**

A様（重度重複障害、発語不可、指し示す・身振り・表情での意思表示可能、言語理解：簡易な表現であればある程度可能） 日中活動のお菓子作りで作りたいお菓子を選んで頂いた。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・写真画像を複数枚お見せして作りたい（食べたい）お菓子を選んで頂いた。
- ・普段から周囲の人に対して気を遣う方（他者に意見を合わせる傾向あり）で、周囲の状況・雰囲気（他利用者様が選んだもの等）やスタッフの質問の仕方等で選ぶものが変わる可能性が高い為、時間・日にちをあけて複数回選んで頂き、一番選んだ回数が多い物をお菓子作りに取り入れた。

### **事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ④ ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-2 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

午後の余暇時間、ひもで遊ぶのが大好きな利用者さんが楽しそうに遊んでいた。「散歩に行く人だけ行きましょう」と全員に対して声掛けをするとひも遊びをやめて立ち上がる。いざ行こうとすると雨が降っていて「傘をさしてならいけるけど、雨が嫌な人は中で待っていようね」というと、自ら靴を履き、傘を持ち散歩に出発した。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・傘をさしてでも散歩に行きたいか聞いたところ。

### **事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑦ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-2 4. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ④ ⑤ ⑥**

Sさんが日を追うごとに午後の活動への参加時間が短くなり、最終的には、トイレ・廊下にて過ごすようになってしまう。「やりたくない」「参加したくない」という意思表示と捉え、その背景を探ることから始めている。 対利用者のマッチングや、活動内容・時間・場所など、いろいろな観点から分析を行っている。 最終的に Sさんが好きな事・得意な事を中心に、再度活動内容や時間を組み替え、Sさん個人に合わせた日課を作る ことで、今日では、一日を通して楽しく活動等に参加することが出来ている。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・「やりたくない」「参加したくない」という気持ちを尊重したこと
- ・本人の気持ちやペースを尊重しながら無理なく分析を行えたこと
- ・全体として捉えるのではなく、Sさん個人（個別に）として捉えることが出来たこと

### **事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-25. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥**

トイレ改修工事に伴い、少人数化、居室の固定化を行った。今までより個々に目を向けることが出来、特性の理解に繋がった事で、活動の広がりが見えた利用者さんが多い。その中でも Oさんはコイン入れやドミノ等、着座で行う静かな活動を行うことが多かったが、環境の変化によりキャッチボールや卓球など様々な運動への興味が見え、Oさんの笑顔が増えた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・それぞれの活動室で利用者の特性を「強み」として、活動内容を工夫した。
- ・活動に必要な物品や環境に関して早急に対応を行った。(運動やミニゲーム、創作活動で使用するもの等)

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑤ ⑥**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-26. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑦**

利用者 Nさんには、給食で白いご飯の時は、おにぎりにして出して欲しいとの要望があり、おにぎりにして提供している(白飯のおにぎり)。ある日の給食時、Nさんはなかなか食が進まず頭を抱えていた。声をかけようと思っていたところ、別の職員がその時のおかずの鮭を細かくしておにぎりの中に入れ、鮭おにぎりにして Nさんに渡していたことが分かる。Nさんの食事の仕方は、おにぎりはおにぎり、鮭は鮭で食べたい人なので、Nさんに「鮭を取りますか？」と尋ねると、「うん」と頷いた。おにぎりから鮭を取り除き渡すと、食事をし始め、残りの鮭も食べることが出来た。Nさんの食事の仕方が分からなかったら、いつまでも食べることが出来なかったと思われる。早めに気付くことができ、最後まで食べてもらえて良かった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・食事の仕方が分かっていた。
- ・利用者の食事をしているところは、常に目を配っている為、早めに気付くことが出来た。(栄養士)

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-27. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑦ ⑧**

施設外就労で同時に二か所の作業場所があり、体験の意味でいつも参加して頂いている作業場所ではない作業場への参加をお願いしたところ、普段言葉が少ない本人さんよりいつも参加している作業場所「〇〇がいい」との話があった。その為、いつも参加している作業場所ではない作業場所の良いところや特徴を細かく伝え出掛けるまでに時間がある為、もう一度考えて貰っても良い事を伝えると頷き、その後本人さんから「〇〇に行ってみる」との返答であった。参加いただいた後、気持ちを確認したところ「良かった」との返答があった。その後現在は、どちらの作業場所にも楽しく参加することが出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・体験していただけるよう特徴を伝える事で、作業の幅が広がった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④ ⑦ ⑧ 20**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-28. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥**

麺類をすすって食べるのが苦手なAさん。麺が長いとのさえる事もあった。

給食のラーメン切らずに食べたいと意思表示があった為、カットせず食べやすいようフォークにまきつけて介助を行った。途中から少量ずつすすって食べる様子が見られ時間もかかっていた。再度食べ方について確認すると、自分ですすって食べたいとの事で、そのまま様子を見た。いつもより食べるのに時間がかかり、食べづらそうにも見えたが、食後「つるっ！つるっ！」と何度も笑顔で話し、すすって食べられたことをアピールしていた。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・職員の先入観ではなく本人の気持ちを優先した。
- ・食べづらさから誤嚥やのさえがあった際も対応できる職員体制だった。
- ・本人の意思が出るのを待てた。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-29. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ④ ⑦**

外出活動の際、お弁当屋さんで昼食を購入しようとしていた時の事。場所のこだわりが強いAさん（発語なし）は頑なに車から降りない様子だった。Aさんはラーメンが大好きなため、お弁当屋さんのラーメン数種類から写真で何味がいいか選んでもらおうと思ったが、他の利用者が先に買っていたカツ丼をじーっと見ていることに気がついた。施設の給食では丼物は食べないが、そのカツ丼を近くでお見せすると食べたそうに手を伸ばした為、カツ丼を購入。念のためラーメンも購入したが、ラーメンはあまり食わずカツ丼を完食された。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・職員の先入観にとらわれず、本人の目線や表情からくみ取ることができた。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ④ ⑦ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-30. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑥**

区分6の発語のない利用者Aさんは、自分のマスクが汚れ、交換したい時に大きな声で泣く、自傷行為をするなどの意思表示が見られていた。生活支援員が伝え方のひとつとして、マスクカードを作成し新しいマスクと交換ができることをジェスチャーや一緒に行動し伝える。現在は、泣くこと、自傷行為はなくなり自分のタイミングでカードを生活支援員に渡し、マスクを交換することができるようになった。また、生活支援員が称賛することでマスクを手にとると笑顔がみられるようになった。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・イラストカードを作成し意思の伝え方を理解できるように説明できた。
- ・イラストカードを本人が理解できる場所に設置した。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑤ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-3 1. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨ ⑩**

季節や気温に合わせた衣類を着ることが苦手とするBさん。家庭で母親からの指摘を受けると激怒し他害行為に発展してしまうこともあり、家庭では本人の意思に任せている。生活支援員から送迎の車中や、日中活動の中で季節に合わせた服装について提案させてもらう。事業所に着替えを持参し、その都度、声掛けしていくことで自ら着替えができるようになってきた。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・自分の考えを引き出す声掛けができた。
- ・自発性を生むきっかけができた。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ② ④ ⑤ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

## A-3 2. 委員会考慮ポイントカテゴリー ② ④ ⑥ ⑧

Aさん。自閉症スペクトラム症。集団活動、新規場面が苦手で、不安感、緊張感を強く持ちやすい。また意思表出の苦手さが見られる。行事に参加できないことが多く、行事がある日は行事終了まで落ち着かずに不安定さを示すことが続いたことから、本人に行事に参加せず居室で過ごしても良いことを明確に伝え、本人が意思表出しやすいタイミング、状況を捉えて、行事ごとに参加の有無を選択させるようにしたところ、行事がある日でも、不安感を示すことなく、安心して過ごせるようになった。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・行事に参加しなくても良いことを明確に伝えた。
- ・本人が意思表出しやすいタイミングと状況を捉えて選択させるようにした

## 事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑥ ⑦ ⑧

## 【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

## A-3 3. 委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑧

日中一時支援児童（Bさん）余暇時間にDVDを視聴する際、DVDディスクが並んでいる棚に連れて行くこと、今見たいDVDを選択し、好みのDVDを落ちついて鑑賞できるようになった。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・沢山あるDVDの現物を児童の目の前に示すことで、視覚的情報から選択がよりし易くなった。

## 事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑦ ⑧

## 【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

## A-3 4. 委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑧

Bさん(男児・未就学)

自由遊びの時間、遊びたいおもちゃを職員に訴えて来る。発音が不明瞭であったり、まだ通い始めて間もなかったりする為、職員も本児の希望を上手く掴めない。そこで、おもちゃの写真カードを3つ見せると、アンパンマンのおもちゃの写真カードを取り、スタッフに「これ！」と言うように要求がある。実際にそのおもちゃを渡すと、嬉しそうに抱えて遊び始める。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・視覚的な情報を使い、容易に選択出来る場面が作れた。
- ・本児の要求を引き出した。

## 事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑧

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-35. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥ ⑦**

Aさん(男児・学童)

利用の時間になっても登園しない為、こちらから保護者に電話を入れる。すると、疲れたから行きたくないと言って本人が愚図ってしまっており、自宅からまだ出発出来ていないとの事だった。

本人に電話を代わってもらおうと泣いているが、自分の口から行きたくないときちんと伝えて欲しい事を伝ると「今日は疲れたから行きたくないです」と言える。次回はきちんと登園出来るか尋ねると、「来週はきちんと行きます」との返答あり。母親にも本人とのやりとりを了承していただき、この日の利用は欠席となる。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の気持ちが優先された。
- ・本人が気持ちを伝えやすいよう、促しが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-36. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑥**

小学生男児 B 君。慣れない環境への不安が強い。個別指導の際に、同じ時間帯の集団指導利用児の動きに過度に反応し、集中でいない事があった。そのため、スタッフ・本人・母とアセスメントを実施し、利用曜日を変更した。顔見知りの他児がいる曜日に変更したことで、まだ抵抗はあるものの、以前のように部屋の前を通れないなどの事はなくなった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・「知っている人がいる」ことが、本児にとって一番の安心材料であると考え、曜日変更を勧めた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-37. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑥**

登園直後の A 君が、手洗いうがいをするときに、トランポリンをやりたいと訴えがある。

今は遊ぶ時間ではないことを話すと「10回だけ」と話すので、スタッフから指切りげんまんを提案する。  
普段は切り替えが難しい A 君だが、その時は 10 回で終わることができ、その後の活動もスムーズだった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・やりたい気持ちを尊重することで、気持ちを引きずらないようにした。
- ・「約束」と称し、終わりを明確化することでうまく切り上げられるようにした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑦ ⑧**

### 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

#### A-38. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑥ ⑦**

個別支援を利用している放デイ利用小学5年男児。事業所内で最近気の合う男児と遊びたくて職員との1対1でのコミュニケーションを学習するSST（ソーシャルスキルトレーニング）を後回しにすることが増えた。時間設定をしてSSTに取り組もうとすると、機嫌が悪くなりながら別に学校の宿題をやり始めた。その際、「1対1のお勉強はしようね」とだけ声掛け、宿題が終えるのを待つこと、本児の機嫌が戻るように職員は少しその場を離れる。10分後、本児の調子も戻りSSTの学習に取り組むことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本児のやりたいことを優先させた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑧**

### 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

#### A-39. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑧**

言葉がまだたどたどしい児童発達支援利用児に対し、玩具選択をする際、写真カード数枚の中から、好きな玩具の写真カードを取り、ホワイトボードにつけて職員に見せ、出してもらう。加えて、言える子は言葉でも、言えない子は両手を合わせてのちようだい、ありがとうのジェスチャーで伝える。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・自分の好みの玩具を選択できるカードとボードを利用する。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑥ ⑧**

### 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

#### A-40. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ④ ⑥**

発話のないAさんはやりたくない課題があるとスケジュールボードを片付けボックスへ片付けることがあった。そこでスケジュールボードにあらかじめ写真、絵カードを貼り付けるのではなく、Aさんに選択してもらうようにしたところ、やりたい課題のカードをスケジュールボードへ貼り付け、やりたくない課題に対しては手を横に振りスタッフへやりたくないことを伝えることが出来るようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Aさんに必要な課題をスタッフが用意しつつ、その中から本人の選択、意思決定を尊重して支援できる柔軟な体制を作ることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-4 1. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤**

読みたい本を購入して欲しいと訴えたMさん。課題に取り組む事と「貸してください。」「ありがとうございました。」と自分から職員に伝える目標を立てた。

来所するとすぐ課題を行い、課題が終了すると「本を貸してください。」と読みたい本を借りに来て、読み終わると「ありがとうございました。」と返却し、意思を伝える事が出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・スケジュールを提示する事で視覚的にも入るようにした。また、出来た時には「凄いね。」「偉いね。」等、褒めている

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-4 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥ ⑦**

学校の行き渋りを見せるKさん。事業所に来る事を楽しみにしているとの事から、一日の振り返りを行い「学校・自宅での出来事・楽しかった事・次回行きたい事」を本人と確認した。翌日の過ごし方を天候や下校時刻に合わせて考え本人の意思が出て、当日実施出来た事への満足感や変更の切り替えが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人専用のファイルを作成し、満足感を持つ事が出来た。
- ・急な変更の際に本人がどう思ったのか等を確認し、次回に活かせた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ④ ⑤ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-4 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑤**

「丁寧に」といった曖昧な尺度の理解が難しい利用者さん。掃除や片付けのやり方を口頭で職員から指導されるが、回数を重ねるうち自分の解釈で作業してしまい、なかなか正しい手順が定着しない。そこで取り組む時間や作業の流れを視覚的に提示したところ、作業を適切に進められるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・時間や手順を文字・写真といった視覚化によって明確に表現した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑩**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-4 4. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑥**

確認行動が多く、自分の興味のある活動をみかけるとすぐに注意が転導してしまう利用者さん。環境を刺激の少ない居室でタイマーを使用し、音が鳴ることで終わりを判断できるよう環境設定を行うと、自身で「終わったよー！」と職員に伝えることができ片付けや次の活動の切り替えもスムーズに出来るようになっている。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

・刺激量の度合いが本人に合っていたことや片付けを終え職員に活動の終了を伝えられたことで、褒められるといった経験から本人の成功体験に結び付いたのではないかと思われる。

### **事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑩**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

A-45. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥ ⑧**

新型コロナウイルスの感染を防ぐため、今回の行事は外出せず所内でできる行事を考えた。「自分でサンドを作ろう」の行事を実施した。自社製品のコッペパンと食パンを使用し、自分で好きなサンドを作れるようにパンの具材や調味料を選択できるようにした。具材や調味料等を選択できるようにしたことで、自分の好みのパンを作ることができた。利用者の方が笑顔で「美味しい」と話す姿や喜ぶ姿が見れて良かった。また、行事をしたことで普段の姿や嗜好を知ることが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・自分で好きな具材、味付けを選択できるようにした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

A-46. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑥ ⑧**

利用者（自閉症・男性）Aさんの目標を立てる際、ずっと昼食は注文のお弁当と決めていたが、週1回カフェで好きなパンを選ぶことができたらいいいのではないかと話があがった。面談時に、本人、保護者と相談し個別支援計画の1つに目標を立てた。

どのようにしたら自分で好きなパンを選んで購入できるか、職員間で話し合い、1週間の昼食カレンダー、職員の同行の仕方、行き方や購入方法を視覚化し手順書を作成した。

カフェ利用日、行き方や購入方法の手順書を本人に渡し、職員が同行しアドバイスをしながら、カフェを利用したところスムーズに自分の好きなパンを2つ選び購入することが出来た。本人が好みのパンがあることや、それを数ある中から選ぶ事ができることを知った。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・職員の同行・見守り、行き方や購入方法の手順書の視覚化、一週間の昼食カレンダーを作成した。
- ・昼食の選択肢が増えた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑤ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

A-47. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥**

特定の作業を中心に取り組んでいたが、他の作業にも取り組みたいという本人の意思表示があった。これまで一度も取り組んだことのない作業ではあったが、本人の意思を尊重し取り組んだ結果、作業の幅が増え、より作業への意識が高まり、意欲的に作業に取り組むようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の「他の作業にも取り組みたい」という意思を大切にすることができた。
- ・新たな作業ができるようになり、本人の作業への意欲が高まった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-4 8. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑦**

利用者 O さんは語彙が極めて少なく単語のみで話す方です。O さんが午前 11 時から「キョウリュウ、キョウリュウ」と職員に話かけ始めた。支援員が「恐竜？」と聞き返したが、O さんは「キョウリュウ」と答えるばかりであった。「ビデオが見たいのか」「レンタル屋さんに行きたいのか」など聞き返ししながら 30 分程話しを聞いていると、O さんが支援員の手を引き食堂へ向かい「キョウリュウ、キョウリュウ」と話し出した。支援員が「醤油？」と質問すると O さんが笑顔となり「ショウリュウ、ショウリュウ」と話した。醤油は食事の時に貸し出す事を伝えると O さんは笑顔で作業室に戻った。昼食時に醤油を貸し出すと、持参したお弁当のコロッケに醤油を掛け「ありがと、ありがと」と支援員に声を掛けた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・O さんの訴えが言葉では理解できなかったが、支援員の理解できるまで聞く姿勢が O さんの次の行動（食堂へ支援員を連れて行く）に繋がり、結果訴えの内容を理解することが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-4 9. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥ ⑦**

施設外就労で同時に二か所の作業場所があり、体験の意味でいつも参加して頂いている作業場所ではない作業場への参加をお願いしたところ、普段言葉が少ない本人さんよりいつも参加している作業場所「〇〇がいい」との話があった。その為、いつも参加している作業場所ではない作業場所の良いところや特徴を細かく伝え出掛けるまでに時間がある為、もう一度考えて貰っても良い事を伝えると頷き、その後本人さんから「〇〇に行ってみる」との返答であった。参加いただいた後、気持ちを確認したところ「良かった」との返答があった。その後現在は、どちらの作業場所にも楽しく参加することが出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・体験していただけるよう特徴を伝える事で、作業の幅が広がった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-5 1. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑧**

作業や普段の生活について、全員で話し合って守るべきことを決めている。全員が意見を出せるように配慮しているが、発言できない利用者に対して、選択肢を複数提示すると、自分の意見を出せることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・考えがまとまらない場合に、選択肢を提示したことで、考えをまとめることができ、意見を出すことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-5 0. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ④ ⑤**

<利用者の状態・現状>60代女性。斜視、弱視であり、細かい物、部品が見えづらく、また、色の濃淡がはっきりしないものの判別がしにくい。そのため、そうした作業は、はじめから「できない」と避ける傾向があり、できる作業が少ない<ねらい>

一人でできる作業を増やし、仕事の幅を広げることで、仕事に対する自信を付け、達成感や充実感、できる喜びを味わえるようにし、仕事への意欲を高めるとともに、仕事における自己選択・自己決定の幅を広げていく。

<状況・支援の方法>本人が「できない」と自信が持てていない状態だったため、指示して無理にやらせてもらうのではなく、「試しにやってみませんか。」という、失敗することを許容、挑戦することを応援する姿勢で作業支援を行った。本体に「ホルダー」と呼ばれる部品を挿入する作業。上下・表裏の向きと、ミゾの位置を合わせるのがポイント。これをふまえ、本人の困りごとを解決できるよう配慮し、作業指示書を作成し、提示した。

①平面から立体を想像するのが難しいようだったため、絵や写真でなく、実際の部品を貼り付けた。

②貼り付けた部品の隣に、作る部品を置いて並べる欄を設け、容易に向きが分かるようにした。

③目が悪いため、文字は青色で太く大きく、ポイントとなる事柄は赤色にて表示。文は短くして提示した。容易に手順を確認しながら作業を行えるようにした。<結果>これまで「できない」と避けていた作業が一人で問題なくできるようになり、「できた」「楽しかった」「もっとやりたい。やめられないね。」と笑顔で話してくれたことから、できる喜びを味わいながら仕事に取り組むことができた。また、「他の仕事もやってみたい。また教えてね。」と話してくれたことから、仕事への意欲が高められたとともに、職員との信頼関係も深めることができた。

【配慮ができたポイント及び考察 等】

職員が「できないから」と決めつけずに、できる可能性に視点を向け、本人の保持能力を生かし、困りごとを解決できるような具体策に力点を置いた。

無理強いせず、本人の意思決定を尊重。失敗の許容、挑戦への応援により、できないことへの恐れや不安を軽減し、安心感を持って作業に取り組めるようにできたと思われる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ④ ⑤**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-5 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑦**

知的障害を持つIさん男性。これまで施設外就労に行けずにいたが、他の利用者さんが次々と施設外就労に行く事で、本人も意欲を持ち始め現在も行くことができています。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・本人の意欲が高まった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-5 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑥**

施設利用間もない利用者 A さんの初期目標が、施設環境に慣れるというものでした。週 3 回の利用から始まりましたが、A さんが好きな音楽を取り入れた支援。持参された CD を館内放送で流す（カレンダーを用いて事前に担当職員と相談し流す曲を決め、他利用者にも周知できるようにした）。持参されたプロモーション DVD を他利用者の了解を得て時間を決め流すといったように、居場所づくりを行ってきました。結果として、本人より利用日数を増やしたいという相談があり、週 3 回利用から週 4 回利用と変更になっています。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の希望となる音楽を積極的に取り入れ、過ごしやすい環境の提供を行ったこと。
- ・他利用者へも今日はどんな音楽が流れるのか楽しみにしてもらえらるような、本人の役割を与えたこと。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ① ③**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-5 4. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ⑥**

利用者 A さんは安心できない事が原因でスムーズに部屋に入る事が出来なかった為、部屋のドアをオープンにして室内を見渡せるようにする事と、興味を持てるきっかけとなるよう 好きなキャラクターを椅子の背もたれに貼る事で興味を示し入る事が出来るようになった。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・部屋に入れず廊下に座り込んでいる際はヨガマットを使用、又は好きなバランスボールを提供する。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ① ②**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-5 5. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑥ ⑦**

袋入れ作業に取り組んでいた S さん。以前より集中して袋入れ作業には取り組んでいたが袋の中央に合わせて材料を入れ、その後、カゴに入れるまでに時間がかかっていた。職員が S さんに見本を見ていただきながら、「袋に材料を入れてカゴにすぐに置いたら 5 点ですよ」と S さんが分かりやすい言葉でお伝えしたところ、材料を袋に入れたらすぐカゴに置くことが出来た。その後も繰り返しお伝えすることで、取り組むスピードが少しずつ上がった。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ S さんに見本を見て頂きながら、分かりやすい言葉でお伝えした。
- ・繰り返しお伝えすることで、S さんの意識が変わった。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-56. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ④**

就労移行支援利用のSさん。職員としては個別活動では様々な学習を進めて頂きたいが、Sさんなりに目標をもって振り返りを行いながら学習を進めているため、Sさんの希望を優先してSさんが選んだメニューで個別学習を行ってもらった。活動の後半に疲れが窺えたのでメニューの変更を提案したところ、職員が提案したメニューを選択して学習を進めることができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・本人を主体としたプログラムで学習を進めながら、本人に疲れがみられた時に別メニューを提案して、無理のない学習に切り替える方法をとった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑥ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-57. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

Tさんは高次脳機能障害で身体機能が低下し四肢の関節に強張りがあった。機敏な行動は出来ないが、自力歩行や物を抱えて運ぶことは出来ていたため、室内での内職作業に加えて取引先への納品に同行する作業も行っていた。しかし、本人は外に出て体を動かす【施設外清掃作業】を強く希望していた。Tさんは認知機能の低下もあり、整理整頓は苦手だった。また、清掃作業には立つ、しゃがむ、雑巾を絞るなどの手足の柔軟な動作が必要なのだが、関節の固い本人にはそれも少し難しいと思われた。しかし、Tさんが【施設外清掃】に行くことを諦めなかったため、実際の三カ所の作業施設の清掃体験を試みる事を本人に提案した。

だが、やはり二カ所の公共施設の清掃の拭き掃除は、膝が曲がらないTさんには難しく階段での転倒や怪我の心配も大きかった。また、いくつもの作業工程を経て先方の要求事項をクリアすることが出来ていなくても自分は出来ていると言いきり、何よりも他の人の助言を受け入れることが難しく「じゃあ、あんたがやってくれ。」と言って他の利用者さんも困惑させてしまうこともあった。

最後、三カ所目はTさんにとっては最も過酷と思われるほぼ外に近い作業で、すべての清掃道具を手分けして現場まで徒歩で持ち込む場所だった。しかし、Tさんは夏の暑い中、不満を言うことなく、やりたかった事に向かうことが出来た。現場の通路や天井、壁のクモの巣、ほこりを長ほうきで払う作業は、背の高いTさんにはやり易かった。茶色の壁に張り付いた白いクモの糸や虫の繭は取り除けば目に見えて成果が実感出来る。もともと気に入った作業は集中して出来るTさんに合った作業だということに気付くことが出来た。

今、Tさんは最後に体験した1カ所の清掃作業のシフトの一員となって頑張っている。最近作業に必要な道具の改善を提案するなど、自らが責任を持って行う気持ちと協調性が芽生えて来た。

【配慮できたポイント及び考察 等】

- ・本人のやりたいという気持ちをくんで、受け入れる体制を整えた
- ・本人の好きなことに集中できる強みを生かして、希望を叶えることが出来た

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-58. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

衣服へのこだわりが強い一人暮らしの A さん。梅雨の時期に衣服から異臭がした為施設の洗濯機で洗濯するように声掛けしたが拒否が強い様子があった。そこで、東京に住んでいる兄へ相談し新品の衣服を送ってもらうと大変気に入って以降施設での洗濯がスムーズに行うことが出来るようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・東京に住んでいる兄にも協力してもらう事が出来た。
- ・新品の衣服を着用した際に称賛し、清潔が保持出来るように支援を行なった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-59. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑥**

新しい工程になった際、自分と一人の職員しか作業できないと思い込んでいた A さんの為に実際は作業が出来ないと思い込んでいた A さんの為に実際は作業できる職員たちが A さんの目の前で講習を受けた。それからは安心された様子でどの職員にも作業を任せられようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉だけで伝えるのではなく、どうしたらご本人が納得しやすいかを考慮した支援を行なった。
- ・職員間の連携をうまく図ることが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ⑤ ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-60. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑧**

商品のシール貼りやパッケージのシール貼り等、手先を使う作業は普段からあまり携わらない A さん。土曜日は、比較的作業量も少ないので、あえて A さんに「シール貼りをやってみますか？」と声をかけた。  
A さんからは「いつも〇〇さんがやっているからこれはちょっと・・・。」という返事だったが、足取り軽くシールの入ったケースを持って来て、ゆっくり黙々と作業をこなしていました。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・押しつけではなく、本人の「やってみようかな」という気持ちを尊重した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-6 1. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑦ ⑨**

自主生産で製造しているパンなどを毎日市内各所に配達をしている。利用者が配達に行く順番をあらかじめ決めており、一人ずつ同行してもらっている。ある日、職員が配達から戻ってくるとAさんから「配達に連れて行ってもらっていない!」「一回も行ったことがない!」「同じ人ばかり行っている!」などと怒りながら言葉を繰り返していた。(そのようなことはなく、順番に声をかけている。時には本人が別の仕事の方がしたいので行かないということもある) 順番を記載しているリストは常時掲示しているが、順番のリストを見せながら本人に「まだ順番が来ていないので来たら声をかけます」と伝えるものの、なかなか納得できないでいた。

高齢であるため、体の不調などがあり、日中は体の痛みなどの訴えが多くなってきている。本人が生活しているGHは別法人であるため、管轄する事業所へ調子が悪い際にはその都度連絡を入れて状況を伝えている。

本人が自分で作業を選んで配達に行かないときに、後から連れて行ってもらえないと訴える件については、自分で決めたことなのでそれは違うのではないかと配達員の順番が来たら声をかけていることを繰り返し伝えている。時間をかけてよくよく話を聞くと、本人としては通院をしたい気持ちはあるものの思うように連れて行ってもらえない葛藤がある模様。抑えられない気持ちが今回の表現として出てきたものと思われる。通院をした後は、穏やかに過ごすことが出来ているが、過去にも同じ件を繰り返したこともあるため、見守っている状況である。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉だけではなく、状況を見守り、真意は何なのか探ることで、本人の気持ちを知ることが出来た。

### **事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-6 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑧**

Aさん(男性、発達障がい)

ある日、一般就労の経験があるAさんが就職相談に来所された。Aさんは福祉的就労の存在を知らない。支援者がAさんへ「はたらく」についての選択肢の中に福祉的就労を加え説明をした。するとAさんは、一般就労だけではなく、福祉的就労も「はたらく」であることを知った。

その結果、Aさんは自分に合った働き方が他にもあることを知り、福祉サービス事業所での「はたらく」を選択し希望する事業所を利用することとなった。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・支援センターの業務のみを説明するのではなく、福祉サービスなどについての説明ができたこと。
- ・本人は一般就労の経験しかなかったが、自分にあった「はたらく」を選択できるように、選択肢を紹介することができた。
- ・特に福祉的就労については、図や写真等を使用して分かりやすく説明することができた。

### **事業所判断ポイントカテゴリー ③ ④ ⑤ ⑦ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

A-63. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑤ ⑦ ⑩**

統合失調症 グループホームで生活を送る利用者Nさん。(女性)

「お風呂は、小さい頃から嫌いだった。家で生活していた時も、毎日お風呂は入っていなかった。」と、毎日入浴する習慣はなく、入浴に対し強い抵抗がある。

以前は、月に3回程入浴をしていたが、入浴回数が減少し、月に1回の入浴となった。体に痒みが生じ、出血を伴うほど体を掻く姿や、他者から体臭を指摘されるようになる。

主治医に状況を報告し、支援方法を相談する。入浴の勧め方について助言を受けながら、その都度アプローチ方法を検討する。徐々に入浴回数が増え、痒みの症状が改善された。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・医師に相談し、医療的観点から助言を受けた。
- ・以前は、入浴しないことで体に生じるリスクを繰り返し説明していた。しかし、入浴を拒む姿は変わらなかった。

「〇〇さんが夜勤の時しか、お風呂は入りたくない。」と、特定の支援者の時のみ入浴をする。

その為、現在は「今月は、〇〇さん(特定の支援者)は〇回夜勤の勤務があります。」と説明。

本人から「じゃあ、今月は〇回お風呂に入るね。」と話があり、自身で入浴回数を決め、無理なく入浴を行うことができるようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た事例・成功事例】

A-64. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤**

献立表に魚料理があると、「骨取ってくれなきゃ食べないよ。代わりに、ふりかけ掛けるからね。」と機嫌が悪くなるSさん。

ある時、「調理方法を変えるので、食べてみてください。」と声を掛ける。魚の骨を取り除き、すり身にし、唐揚げにして提供する。「美味しい。また、こういう風に作って。」と感想が聞かれた。

## 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の要望通り、魚の骨を取り、形状を変えた。
- ・本人の怒りを収めることが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-65. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ④ ⑦**

当施設では週2回、ジュース購入を行っており、利用者さん本人が自販機でジュースを選んで購入していた。しかし、コロナウイルスの感染予防対策で、密になることや接触の回避のため、職員が利用者に飲みたい物を聞き取り、購入を行う事になった。購入は職員が行っているが、自動販売機の飲み物の画像を利用者さんに提示し、説明しながら選んでもらう事で、「自分が飲みたい物」を吟味して選べるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・画像を使って、職員が説明しながら選んでもらう事で、利用者さんも飲みたい物を吟味して選べるようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-66. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ⑦**

Mさんはテレビゲームが好きで、お部屋でゲームをして過ごすことが多い。日中活動時に何がやりたいか聞かれると「ゲーム」と答えている。難易度の高いゲームに臨み、ゲームの攻略法が分からないとイライラした様子で職員に伝えてくるが、言葉で自分の意図をうまく伝えることが難しく、職員が本人の意図をくみ取れない状況があった。また、うまく攻略できないと長時間没頭し、食事も取らずに熱中することもあった。

テレビゲームに明るい職員が本人の要望を聞いて対応していたところ、紙に攻略できない部分に関する単語をピンポイントで書いて伝えてくることがあり、筆記による伝え方であればより本人の意図をくみ取れるかもしれないと予想し、今後、紙に書いて知らせたいことを伝えたいところ、紙に書いて自分の意図を伝えるようになり、これまでよりスムーズに本人の意図をくみ取ることができるようになった。また、ゲームに限らず、それ以外の要求に関しても紙に書いて伝えてくることが多くなり、本人独自の筆記による要求の伝え方について、職員も理解を深めているところである。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・言葉での要求が、上手く伝わらないときに紙に書いてもらうことで職員は要求を読み取り易くなった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ⑥**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-67. **委員会考慮ポイントカテゴリー** ② ⑤ ⑦

肩を脱臼しやすい体質のRさんは平成30年に数回肩を脱臼したことがきっかけとなり、その後、横になって過ごすことが多くみられ始めた。横になって過ごすことが増えたことで寝たきりの生活になってしまわないよう、歩行訓練などの機会を設けたが、強い拒否により興奮状態になってしまうことが続き、実施することができなかった。次第に身体機能の低下と暴言や粗暴行為、食事の拒否等の情緒面で不安定な状況がみられ始めたため、寮内で対応について話し合い、居室内の壁一面にRさんが大好きな嵐のポスターを貼り、嵐の音楽鑑賞を提供し、Rさんが心地よく過ごせる居室環境の設定を行うことで笑顔増え情緒面が安定し、気分が良い時には歩行訓練に参加出来る日が増え、現在では自ら上体を起こして過ごす時間が増えて身体機能の低下を防ぐことができている。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

・歩行訓練を行うように勧め、身体機能の低下を防げるようにしたが、拒否がみられた時には無理強いせずに居室内をRさんの趣味や好みに応じた環境に設定したことで、歩行訓練を行わずとも自然と自ら身体を動かすことができるようになり、自分から歩行に参加しようという意欲を高める結果にもつながった。

### **事業所判断ポイントカテゴリー** ⑥ ② ⑦

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-68. **委員会考慮ポイントカテゴリー** ② ⑦ ⑧

Tさんは、食事を終えても中々食堂から居室へ戻ろうとせず、声を掛けると不機嫌になってしまう。職員間で本人の行動を丁寧に確認をすると、食べ終わると「手洗い、お茶を飲む、水道からコップに水を汲んで席について飲む」というルーティンがある事が分かった。職員がルーティンを終えるまで見守り、声をかけるタイミングもお茶を注いだ際に「飲み終わったら居室に戻りましょう」と事前に伝える事で不機嫌にならず気分良く居室へ戻る事ができるようになった。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

・本人の行動に目を向け、ルーティンがある事が分かった。(その後、他の場面のルーティンについても職員間で確認した。)  
・ルーティンを職員が理解する事で職員は焦らずに待つ、本人は安心して移動ができるようになった。

### **事業所判断ポイントカテゴリー** ② ⑤ ⑦

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-69. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ④**

栄養士を中心に選択食の日を作り、個別に写真でメニューを知らせたり、どんな味なのかを具体的に知らせた。また、新型コロナウイルスの影響で外出ができないため、食事をテイクアウトするお楽しみ会を企画し、複数店舗のメニューを写真で表示し知らせた。今まで選ぶ事が苦手な方が食事を楽しみに選ぶ事ができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 選択する機会を持つことができた。
- ・ 個別に分かりやすく伝わりやすく工夫をする事で今まで選択が苦手な方が楽しみながら選ぶ事ができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-70. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ⑧**

日中、作業場のある棟へ移動するも、特に活動をする事なく、独語を発しながら廊下を歩き来し、トイレを水浸しにするなどしていたAさん。絵カードとスケジュールを使用し、活動スペースと休憩スペースを区切って分けたところ、課題にしっかり取り組むようになり、活動時間と休憩時間のメリハリができた。また、水浸しにするようないたずらも減った。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 絵カードとスケジュールを使う事で、何をすべきか理解する事ができるようになった。
- ・ 本人が落ち着ける環境をつくる事で、周囲を気にすることなく過ごす事が出来るようになった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-71. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑧**

SさんはラジカセでCDを聴いたり歌うことが好きな方。演歌や童謡を好んで聴いていたが、演歌以外のジャンルのCDを職員が用意した。気に入ったようで現在は様々なジャンルの音楽を楽しんでいる。その時々でお気に入りのCDは変わるものの、特定の曲のフレーズを合言葉のように口にするようになり、それを職員と交わすのがコミュニケーションの一部となった。その後も新しいCDの他、カラオケ機能付きの絵本を用意し、好きな音楽を楽しめるような選択肢を提供する。Sさんの口から、職員に対し「童謡CD」などとその時折の本人の希望も聞かれるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・ 歌が好きなので、音楽には幅広く興味があるのではないかと考えた。
- ・ 日課のカラオケで嬉しそうに歌う姿が見られることから、気軽にカラオケ気分が味わえる絵本を用意した。
- ・ 音楽を聴くことがSさんの喜びとなっているのではないかと考えられる。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑤ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-7 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ④**

買い物際には、皆が自分の好きなお菓子をカゴに入れ購入する。月に1~2回の買い物なので、個々のお菓子保管箱にたくさん入っている。毎日のティータイム時には、利用者さんの目の届かない箇所にお菓子保管場所がある為、ある程度職員が見繕って一人一人に渡す事が恒例となっていた。自閉症のMさんは、買い物の際に自身で選んだお菓子を覚えており、職員が提示したお菓子に対し“違うものが欲しい”とジェスチャーと声を出して訴えることが多かった。そこで、個人のカゴを購入し、Mさんのお菓子を全て入れ、毎回ティータイム時には本人にカゴごと全て提示するようにした。例えカゴの中に同じ種類のお菓子しか残っていない場合でも、Mさんは迷いながらも自分で手にしたお菓子を味わうことが出来ている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉での意思表示が出来ない方なので、見て選べるように配慮した。
- ・今までのやり方を本人に合わせて変えた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-7 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ③**

施設内の理髪時に髪型の希望を伺った際に、上手く希望する髪型を伝えることが出来なかった。言語での意思表示が難しい方であった為、髪型のイラストと言語を併用し説明を行ったところ、指差して意思確認出来た。ご本人も、希望する髪型を選択して伝えることが出来、気に入った髪型になり笑顔で満足そうな表情をしていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言語での意思伝達が難しい方へ、非言語的コミュニケーション視覚的支援を取り入れることで正確な意思決定支援に繋がった。入所前の、相談員や家族の情報提供がヒントとなりこの支援に繋がった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-7 4. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ④**

茶話会、食事会等で実際提供する物の写真付きのメニューを見て選択することで利用者の「美味しかった」等の言葉や表情があり満足してもらうことが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・カラーで実際提供する物の写真を用いることで、イメージ形成に役立ちより本人の思いに近い意思決定に繋がった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-75. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑥**

Sさんは買物や外出が好きな方であるが、新型コロナウイルスの影響で外出が制限されたことで施設内で過ごすことが増え、退屈している様子であった。施設内でも退屈せず過ごせるよう、やってみたいことや好きなことを知るため聞き取りすると、「テレビで野球が観たい。」と話していた。施設の環境として、テレビ鑑賞はできるが地上波放送に限られており、野球中継自体も減ってしまっていたことから、施設内での会議の場で議題に挙げ管理者に相談したところ、BS放送を観られるようにアンテナ取り付け工事等の対応を取り計らってもらえた。

BS放送が観られるようになったことで、日本のプロ野球だけでなくメジャーリーグ等の中継も楽しんで観戦できるようになり、大変喜んでいた。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の表情や様子から、気持ちの変化をくみ取ることができた。
- ・くみ取った変化を聞き取りすることで、意思を確認することができた。
- ・個人の意思を施設全体で共有し実現できた。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ② ⑥ ③**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-76. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑥**

Mさんは、在宅から就労B事業所へ通所していたが、家族との同居が困難となり施設へ入所した。自宅から離れた施設へ入所したため、通所していた就労B事業所も退所となるが、本人はそれをとても残念がっていた。相談員と連携し、入所した施設から通所できる別の就労B事業所で体験利用させてもらい、本人も気に入ったことから正式に利用することとなった。現在は、新しい就労B事業所へ通所することをとても楽しみにしており、生活に張りが出ている。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の「退所することが残念。」という想いに寄り添い、今までの生活スタイルにできる限り近いものとなるよう配慮することができた。
- ・関係職員が連携し、共通認識・理解の下、支援することができた。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-77. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑧**

食事の際食べ物の好き嫌いの意思指示が上手く出来ないAさん。一品ずつ提供している為、一度提供したものの拒否し別の物を提供すると食べている。再度、拒否したものを提供すると、食べることができている。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人にとって食べる順番があることを考慮できた。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ② ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-78. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑧**

決まった時間にほぼ毎日不穏になるAさんに対して、居室にスケジュール表と、デジタル時計を設置した。1か月で流れを理解して、不穏軽減へと繋がった。不穏になっていた時間帯に、Aさんの好きなことを取り入れた。例) 水分補給をしたら、居室で音楽を聴いて過ごしてもらう。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・しっかり時間を守って、Aさんにスケジュール項目と時計を確認して行った。
- ・Aさんは水分補給ができるか不安になり不穏へと繋がっていたので、スケジュール内の水分補給は確保することに気をつけた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-79. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ⑤ ⑦**

Iさんの携帯電話料金が毎月高額になることが続いていた。ゲーム課金やおサイフケータイ等が止められず、本人も分かっているが悩んでいる様子であった。支援者側から一方的に制限するのではなく、料金表を作って金額の動きを分かりやすく見せたり、明細書を一緒に見て金額が減らせるようアドバイスをおくった。本人にも徐々に自覚ができてきたようで、現在は以前の約半分程度の金額に抑えられ、本人も自分でできたことで自信がついた様子。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・すぐには結果が出なかったが、本人の意思を尊重しながら納得して改善ができるよう話し合いができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑦**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-80. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑧**

写真撮影が趣味のIさんのカメラが壊れて新調した。その際に写真の提示や機能を教え、十分吟味してもらい望むものを購入した。気に入ったものを購入できたため趣味意欲も沸き、今までは声掛けしても行事にカメラを持っていくことがなかったが、今は自ら持っていきたいと話し、以前より意欲的に写真撮影している。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・Iさんと支援者で話し合い、複数の選択肢から気に入ったものを購入する配慮をしたことで、趣味意欲の向上に繋がられた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-8 1. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑧**

Kさんは、意思表示ができる。入所施設で生活しているためなかなか自由に買い物に出掛けることができないため、施設職員が希望を聞いて買い物を代行している。ある時「ズボンが欲しい」と要求があったため、色や特徴等を口頭で聞き取るが、なかなか希望の物が分からないので、スマートホンを使って画像を見てもらい選んでもらった。本人は目当ての商品を見つけ満足していた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉で伝えきれない部分をスマホを使って視覚的に示し、本人の意思表出を促した。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③ ⑥ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-8 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑦**

自宅外泊が出来なくなり、寂しい気持ちを抱えていたMさん。家族に電話で話をしてほしいと相談するが、以前帰れない時に電話で話をただけで泣かれてしまったことがあると言いつ断られてしまう。電話の後も、Mさんの不安が続いてしまうのではと、心配される。そのため、電話は家族と話をするもので、帰る約束をする物では無い。電話は必要があればいつでも出来る。どんなことでも、家族にゆっくり話を聞いてもらうことが出来る。ということを何度もお伝えする。何度でも話が出来たことを知ったMさんから「楽しみだね」「外泊我慢できるよ。話をしたい。」という言葉が聞けた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の精神状態を考慮して、電話後の対応を事前に本人と話し合った。
- ・家族に本人の意思を伝え理解を得ることが出来た。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ④**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-8 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

コンビニに行き「ポテトチップ、お菓子食べたい」と繰り返すAさん。コロナ禍で外出も縮小され、他者からも同様の意見が聞かれた。職員で話し合い“楽しめること”を企画。ミニコンビニ開催を決め、数種類の嗜好品を準備し職員が店員に扮し販売を行った結果、多くの利用者さんの笑顔につながった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・コロナ禍で外出を控えていた時期に、新しい取り組みを考え実行することで、ストレスを発散できた
- ・多くの種類の中から、周囲を気にせずじっくりとお菓子と飲み物を選ぶことができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑧ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-84. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ③ ⑧**

コロナ禍で買物外出に行けなくなったBさん。好きなお菓子を直接選ぶことができなくなったが、PC画面からお菓子を選んでいただき、職員が購入した。希望通りのお菓子が提供され笑顔見せる。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉ではうまく伝わらなかったが、PCを使用し画像で確認し希望の商品を購入した。
- ・選択肢の幅を広げることができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-85. **委員会考慮ポイントカテゴリー ① ② ⑧**

夕方、決まった時間になると「アッ、アッ」と声を出すため、職員間でいろいろと話し合い「お茶ですか？」  
「おもちゃですか？」と言葉で声を掛けると全てに頷いたAさん。その後、絵カード（写真）を作成し、Aさんが声を出した際に絵カードを見せると、絵カードを手に取り、実物を手渡すことで意思の表出が明確になり、コミュニケーションがとれるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・言葉では理解が不十分だったが、絵カードを用いたことで意思の表出が実現した点。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ② ③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-86. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑦ ⑧**

自閉症中心のグループでの活動で、それまでは取り組む教材のレパトリーが少なく、それぞれに合った物と思い取り組んでもらっていたが、教材を増やし（選択肢を増やす）興味がある物を利用者さんで選んでもらうやり方に変えたところ、それぞれが教材に手を伸ばし集中して取り組むことができるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・職員側の考えで行っていたものを、利用者さん主体に置き換えたことで選んで取り組むというスタイルが確立できた点。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-87. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ⑥ ⑧**

利用者 A さんが、生活用品を購入するのに自分だけでは行けないと支援員に話があった。支援員から「私たちも一緒に行くことは可能ですが、福祉サービスを利用することもできます。」と伝えると福祉サービスを利用したいとの意思があり、相談支援専門員につなげ利用することができた。利用者 A さんから福祉サービスが利用できて良かったとの話も頂けた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の希望に応えられるようになるべく早く福祉サービスとつなげることができた。
- ・選択肢をいくつか提案することができた。

**事業所判断ポイントカテゴリー ② ③ ⑧**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-88. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑥**

買い物支援でいつもケーキセットを飲食してくる A さん。ある日の買い物支援で「まんじゅう。」と言ったのでどちらが良いか尋ねたが、どちらにも「うん。」と言い判断が難しかったため、メモ用紙にイラストを描き選んで頂いた。その日はケーキセットではなくまんじゅうとお茶の飲食で嬉しそうにされていた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・イラストにしたことでどのような物かが伝わりやすくなった。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-89. **委員会考慮ポイントカテゴリー ④ ⑥ ⑦**

K さんは難しい単語や言葉が多くなると「わからない。」と口癖のように言うことがある。そのことが原因で他利用者とコミュニケーションが取れず、職員と話していてもそのような様子が見られた。そこで、K さんが興味を持つことができて話しやすい家族の話をするようにした。すると K さんから話しかけてくれるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・興味がある話題を選び、会話がしやすい雰囲気作りをした。

**事業所判断ポイントカテゴリー ④ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-90. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ⑤ ⑧**

パンが苦手なAさん。パン食の日はご飯に代替えしていた。しかし、訪問販売で菓子パンを選んだり「ハンバーガーが食べたい」との発言あり。実は、食パン等の特定のパンのみが苦手であったことが分かった。本人、サビ管、栄養士と相談し、パン食をすべてご飯に代替えするのではなく、苦手なパンが出た時のみご飯と交換し、好きなパンがメニューに出た時は食べられるようになった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の発言や行動からくみ取ることができた。
- ・パンをすべて代替えするのではなく、本人が食べられるパンか食べられないパンを決めてもらう。

**事業所判断ポイントカテゴリ ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-91. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ④ ⑥**

Aさんは、入浴の際、本人の着替えを本人の名前が記入された棚に置くことができず、いつも他利用者さんとは別の場所に置くことが続いていた。どのようにしたら、皆と同じように置けるか本人に尋ねると、「自分専用のカゴがほしい」と話す。後日、本人の名前の棚にカゴを設置すると、スムーズに棚に置くことができた。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本人の意思表出を受けてカゴの設置の対応できた。

**事業所判断ポイントカテゴリ ③ ⑥**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

A-92. **委員会考慮ポイントカテゴリ ③ ④ ⑧**

高等部卒業後に学卒として生活することにあまり前向きでなかった児童。1学期は慣れる期間として、意欲的に取り組んでいる掃除や活動を取り入れながら児童に無理のない生活を勧めた。情緒の波がある為日々の取り組みにバラつきはあるものの真面目に取り組んでおり、設定していない役割も行なってくれる等良い面が見られた。2学期からの活動については「新しい作業に挑戦したい」との希望を出しており、前向きな気持ちが芽生えてきている様子。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・はじめから多くを求めず、環境に慣れることを優先した。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑤ ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-9 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ⑤ ⑧**

入浴での洗髪支援に対して著しく拒否的だった児童。少しずつ自分で行なわせたり、手を取りながら繰り返し丁寧に教え、出来るようになったことを褒めることで意欲が引き出された。今でもお湯に対する抵抗感はあるが、洗体についても「自分でやるよ」と意欲を見せ、上達している。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・繰り返し教えることで取り組みが上達した。
- ・褒めることで苦手意識を軽減させ、意欲を引き出した。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ⑥ ⑦**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

### A-9 4. **委員会考慮ポイントカテゴリー ② ③ ⑤**

雑誌を持ち歩くことが好きなK様。以前から雑誌を次々に欲しがり常に職員室前に立ち、「本出して」「本ください」との言葉が聞かれていた。買い物に行った際に、本は購入してきたが、すぐに違う本を欲しがるため、職員間で話合いを持った。定期的に本を購入してみる事をK様に伝えると「欲しいです。いっぱい欲しいです」との言葉が聞かれたため、いつも購入している雑誌2冊を定期購読する事となった。2冊の雑誌の発売日に2週間ほどの差があるため、K様も納得し「ありがとうね」と、言葉にして喜んでいる様子が伺えた。K様の特性から増えた分の雑誌をバックに持ち歩き体の傾きが見られるほどである為、危険性が感じられていた。その為、本の数を制限し雑誌が届いた際は、新しい物といらなくなった古い雑誌を交換することにしていた。初めのうちは納得していたが、徐々に「古い雑誌も欲しい」とのことで暴力的な言葉を発したり、ドアを蹴るような行為も見られた。K様から「全部（本）欲しい」との言葉が聞かれ、再度話合いを持った。自室に本棚を置き今まで購入していた雑誌すべてを置くことにした。「私の本ある」と、職員に確認を求めているが、その都度部屋にあることを伝えると、徐々に理解し落ち着いて過ごす事ができるようになった。

#### 【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・本が欲しいとの希望に添って定期購読を行い、満足が得られた。
- ・雑誌を全部バックに入れ持ち歩く事で、体が傾き危険があったが、雑誌を全部部屋に置くことで、バックに入れる雑誌が減り危険を回避することができた。
- ・自分でその都度持ち歩きたい雑誌を選ぶことができるようになった。
- ・雑誌を処分したくない思いを尊重し、全部の雑誌を渡す事ができた。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑥**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

## A-9 5. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑤**

H様の個別支援計画作成時、障がい特性上要望を伝えられなかった方に、コミュニケーションボードを使用したところ、電車の絵を指さし「以前は、自分で電車に乗り自宅まで帰ることが出来たが今は、怖くなってしまった」旨を伝えてきた。希望として「いつかは、電車に乗って外出がしたい」との話があったため、まずは、切符の買い方の練習からはじめてみることを要望とし、個別支援計画に反映することが出来た。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・今までツールを使用をしての聴き取りは行ってこなかったとのことで、コミュニケーションボードを使用した。思いを膨らませやすく、聞き出しやすいため、今後はカード等の使用も検討していく。

**事業所判断ポイントカテゴリー ① ③ ⑧**

## 【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

## A-9 6. **委員会考慮ポイントカテゴリー ③ ④ ⑤**

「衣類の拘りが強い利用者さんの事例」

ご本人の嗜好（デザイン、生地材質、サイズ感など）に合わないものは、ほぼ毎日のように生地に穴をあけたり、破いたりしている。その中でも着用できそうな衣類に関しては縫い直しを行い再度提供するも、さらに着用できないまでに破いてしまっていた。ある日、胸に大きな数字の刺繍のあるTシャツを提供すると、それを好んで着用するようになった。しばらくすると衣類の弱くなった部分を破く行為が見られたが、その箇所を縫い直し再提供すると、それ以上の破く行為は見られず着用を続けている。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

・嗜好に合わないものは着たくないという意思を「破く」ことで伝えていた。  
・大きな数字の刺繍が本人の嗜好に合ったと判断、刺繍以外の弱くなった部分を補修することで嗜好にあった衣類を長く着用できている。すぐに破かないのは「着ていたい」という本人の意思表出。

**事業所判断ポイントカテゴリー ③ ⑤ ⑧**

# 意思決定支援実例のカテゴリー分け要素

本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例につきましては、成功実例で分けた10の要素（以下カテゴリー）の反対と捉えマイナス（-）記号の表記で掲載しております。

なお、⑨の「家族や職員、周囲の人の都合が優先された。」につきましては、本人主体ではない意思決定の実例に該当するカテゴリーですので、マイナス記号の表記ではなく⑨の表記にしています。⑩の「その他」につきましては、本人の意思決定に依らないもの、行動障害、こだわり、医療的ケアが必要な場面等としました。

また、各実例のカテゴリー掲載順位につきましては、成功実例同様、要素が強い順列でお願いします。また、重要で特徴あるポイント部分には下線をお願いいたします。

なお、作成につきましては昨年配布致しました実例集「私の事はあたりまえに自分で決めたい。手伝ってね ver.4」をご参照下さい。

- ①本人とのコミュニケーションを取るための道具使用していない。
- ②本人の表情の変化を観察して、意思を確認していない。
- ③本人の意思決定表出を受けて、実現していない。
- ④意思形成支援・意思表出支援をしてない。
- ⑤言葉だけでなく、実体験、経験、実践後に決めていない。
- ⑥意思決定を周囲で尊重できる人的・物理的環境が無く、実現していない。
- ⑦本人の意思決定を「待つ」体制がない。（繰り返し、根気よく）
- ⑧選択肢としての情報提供により実現ができていない。
- ⑨家族や職員、周囲の人の都合が優先された。
- ⑩その他

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-1. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -③ -⑦ -⑨

活動の選択を行なう際に「どうしようかな…」と迷っているAさん。

話を聞くと創作活動とゲーム活動で迷っているようだった。

迷っている理由を聞かずに「創作活動は人数がたくさんいるので、ゲーム活動に参加したらいいんじゃないですか？」とスタッフ側の都合を優先して伝えてしまった。利用者さんは「うん」と言って、ゲーム活動に参加した。結果として利用者さんはゲーム活動に参加されたが、ご本人の意思が反映されているとは言い難い結果だった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の意思の聞き取りが不足していた。
- ・スタッフの都合を押し付けてしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ -⑦ ⑨

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-2. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑧

外出に参加した際に、ハンバーグ、ラーメン、和食の中から選んでいただくと、本人はラーメンを選択されたが、実際にお店に行くと半分くらい残されてしまった。後日、保護者に確認するとそばなら食べたはずといわれた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・聞いたことにきちんと答えたくるので、そのまま言葉を受け取ってしまった。

事業所判断ポイントカテゴリー -① -⑤ -⑦ -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-3. 委員会考慮ポイントカテゴリー -② -⑦ ⑨

おやつ時間に、ドーナツとせんべいを出したが、いつまでも手を付けないために言葉かけを行った。その際にどちらのお菓子を食べるのか本人が選ばなかったので、おせんべいを手に持っていたが、持たせたおせんべいをさらに戻し、ドーナツを手にとって食べ始めた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・意思表出が困難でも、行動できちんと意思表示を行うことができる事を待つことができなかった。

事業所判断ポイントカテゴリー -① -⑤ -⑦ -⑧ ⑨

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-4. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -②**

C様（重度重複障害、発語：極限られた単語（行きたい・やりたい等）は可能だが発声が不明瞭、言語理解：不明・簡易な内容であれば可能と思われる）

「〇〇したい」、「外出したい」、「介助スタッフを変えて欲しい」等のご要望の訴える手段として入浴や食事を拒否されることがある。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・発声が日不明瞭な為、スタッフがご本人の訴え（意思・希望）を読み取ることが難しい。
- ・ご要望に沿えない場合の理由・状況をご本人に理解して頂く手段がまだ見つかっていない。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -① -⑥**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-5. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -⑧**

給食のメニューが選択食で、2種類の献立から選ぶという日のこと。利用者のTさんが食堂に入ってきたので、メニューを伝え、選んでもらい手渡すと、「違う！」と言って受け取ってもらえず、興奮して食堂から出て行ってしまった。その後、落ち着いてからTさんに聞いてみると、自分が思っていたイメージと違っていただけのこと。メニューを伝えてはいたものの、それをイメージすることが難しかったものと思われる。写真や絵など、視覚的にわかる配慮が出来れば、気分を悪くすることもなかったと思われた。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・視覚的にメニューが分かる配慮が必要であった。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -① -⑧**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-6. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -② -⑤**

トイレに入り「終わった」と言いながらも、なかなか出ようとせず20～30分入っている。

「終わったら出ましょう」と声をかけるが、色々な所につかまり頑なに拒否する。

自分のタイミングで出ることが出来るが、なかなかきっかけがつかめない。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人のお腹の調子が分かりずらく、把握が出来ない。
- ・言葉通りではない、隠れた部分の意思が分かりづらい。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -③ -⑤**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-7. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -② -⑥ ⑨**

Oさんが、日を追うごとに活動への参加時間が短くなり、最終的には活動室へも入ってくることができなくなり、一日の大半を外で過ごすようになってしまう。

活動への参加は二の次とし、友人や支援員との関わりや触れ合いに重点を置き、現在支援中である。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・特性上、大きな声や音、騒がしさが苦手であるにもかかわらず、環境面の準備・整備にまで行き届かなかったこと
- ・本人なりの訴えやアピールがたくさんあったが、活動への参加ばかりに重点をおいてしまい十分に本人の気持ちと向き合えなかったこと
- ・全体ばかりを見て、個を見ていなかったこと

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-8. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑧ ⑨**

昼食後に自動販売機で毎日決まったウーロン茶を買っている Bさんは、自分で選んでそれを買っているのではなく、保護者さんからウーロン茶を買って飲むように言われそのようにしている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人が選ぶ事ができないので、決めてあげないといけないという思い
- ・思い込みや決めつけがある。
- ・選ぶ機会を提供できていない。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-9. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② -⑥ -⑦**

自治会役員会議を行う際、役員会議の予定を前もって口頭ではお知らせしなかった。当日にお知らせしたが、その日の予定が崩れることに納得できず、会議に参加するまでに時間がかかった。また、会議に参加は出来たものの、その後も機嫌が悪く、下を向く、口調が強い様子が見られていた。

(週初めに掲示する週の予定表には、会議日の記載はある)

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・前日など、予定を事前に口頭でお知らせしておくべきだった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑥ -⑦**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-10. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -① -② -③

利用者Sさん（男性）は通園バスで登園後、室内に入らず外の様子を気にする事が少しずつ増えていった。玄関付近から少しずつ範囲が広がり、数十メートル離れたバスの車庫にまで向かってしまう。バス（運転職員）を気にする様子、車庫までの間に道に落ちている落ち葉や車庫内に落ちている落ち葉を拾い、車庫裏の山の斜面に捨てる事を繰り返す。日によっては「終わり」を伝えても納得せず、数十分行動が続くことがある。その日により、室内への誘導が上手くいく日と上手くいかない日があり、何が原因か（きっかけか）はまだ掴めていない状況。雨天でも同様の行動がある為、体調面や転倒による怪我への不安がある。本人の興味、関心を探り、様々な活動への提案を行いながら室内にスムーズに入室できる様対応中。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・一人一人に寄り添った支援、好きな活動への参加を支援している中で、本人の興味が外に向いてしまい、拘りを増長させてしまった。
- ・きっかけの段階で上手にストップができなかった。（きっかけと捉えられなかった）
- ・障がい特性、性格等の理解不足に加え、本人が楽しめるプログラムのアイデア、工夫が不足している。

### **事業所判断ポイントカテゴリ** -② -③ ⑨

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-11. **委員会考慮ポイントカテゴリ** -② -③ ⑨

Aさん 30代男性。強度行動障害あり。音楽が大好きで、好きなCDを聴いて過ごすことが多い。ある時、iPad（YouTube）で他の利用者が曲を聴いていると、自分も聴きたいと曲のリクエストをするようになった。はじめの数日間はリクエスト曲を職員が流して楽しく聴いていたが、徐々にリクエスト要求が過度（こだわり）になっていき、曲が流れる順番を待てない様子や、曲が聴けないと他傷に及んでしまうようになった。そこで、YouTubeで曲を聴くことを中止し、本人が好きな曲をCDにし、以前のようにCDを聴けるよう支援した。現在は気持ちもiPad（YouTube）からCDへ切り替わり、こだわりもなくなり穏やかに過ごしているが、本人のやりたい事（意思表示したこと）と本人の障害特性との関係でこだわりを助長してしまうことにもなりうる事に支援の難しさを感じた。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の障害特性に対して配慮が足りなかった。
- ・本人のやりたい事を受容した結果、こだわりを助長してしまった。
- ・今まで1年程ずっと好きで聴いていたCDをまだ好きであろうと思いリニューアルしていなかった。
- ・障害特性と本人の希望で折り合いのつくところを見極めていかなければいけない。

### **事業所判断ポイントカテゴリ** -① -③ -⑤ -⑥ -⑦ -⑧ ⑨

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-1 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑧ ⑨**

昼夜逆転で通所のリズムがなかなか整えることができない利用者Aさん。施設利用時も眠気や周囲の物音に過敏に反応し、大きな声出しがあり、特定の利用者から他傷を受けることがある。刺激軽減を図るため別室に誘導し落ち着いて過ごせるよう環境設定をおこなった。刺激は以前より軽減することができたが、別室にすることで全体活動へ参加する機会や他者と関わる機会を減らしてしまった。本人のために行っていたことが結果として本人を隔離していたことが残念だった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・安全確保を優先し環境設定を気にするあまり、本人の意思をくみ取ろうとしなかった。
- ・過ごす場所や過ごし方について情報提供をせず、選択してもらうことをしなかった

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -⑤ -⑧ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-1 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -② ⑨**

区分6の発語のないCさんは、散歩に出かけることが好きで散歩がある日は自分から玄関に向かい車に乗り込む。また、体調面では常に便秘気味なので整腸剤を服薬することも多く、トイレに行く回数も多いことから、その日の散歩は見合わせることにし本人に出かけないことを伝える。しかし、理解はしておらず車に乗車しようとしていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・出かけたかったのに実際は出かけられなかった
- ・本人が納得し理解できる伝え方ができていなかった

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -②**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-1 4. **委員会考慮ポイントカテゴリー ⑨**

区分6の発語のないEさんはトイレの際、便器ではなく壁に排尿してしまう。毎回、職員が付き添い同性支援を心がけている。その日は同性職員が近くにおらず、Eさんを引き止め待たせてしまうことがあった。後日、職員会議にて話し合いをし次回からは待たせることなく、自然排泄を促していくことを共通認識として全員に周知した。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・要求に対して待たせてしまった
- ・職員の都合が優先された

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-15. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -④

余暇時間はパズルをして過ごすことが多いAさん。それだけにならないように、カードを作成し、他の選択肢を選べるよう試みた。しかし、ご本人がパズル以外に興味が薄く、パズルの置き場所も知っている為、カードの提示もしないで自分でパズルを取りに行ってしまう。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・パズルが誰でも取れる場所に置いてある
- ・今までカード提示での選択という支援方法を行ったことがなかったため、ご本人としてはカードを使用するという理解が難しかった。

事業所判断ポイントカテゴリ -④

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-16. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③

本人の確認を取る際や何かを選択してもらう時、言葉で説明すると頷きのみであった。そこで、活動など複数ある中から選択してもらう際には、カードや現物を提示して指差しで選んでもらおうとした。しかし、どちらも選ぶとせず、その意図をくみ取れないと感じるが多かった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・カード提示など視覚的な情報を提示したことに満足してしまい、ご本人が理解できているのか確認していなかった

事業所判断ポイントカテゴリ -③

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-17. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -⑧

スポーツ活動と音楽活動を選択する際、スポーツ活動はボールを、音楽活動はラジカセを提示して活動内容を説明し、活動選択の希望を尋ねたところ、Cさんはスポーツ活動を希望する。だが、実際に活動が始まると、音楽活動ではアーティストのライブ映像を見ており、Cさんはライブ映像が見たいと訴え、音楽活動への変更を希望した。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Cさんは実際に活動を見て希望を変更することができたが、音楽活動の内容説明の際、ライブ映像は普段から見ているため、職員はラジカセの提示だけでライブ映像を見ることも伝わらず、道具の提示や説明が不十分であった。

事業所判断ポイントカテゴリ -① -⑧

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-18. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③ ⑨**

レクリエーション活動の選択時、Dさんはいつも同じ活動に参加しているため、職員が時々身体を動かすことを提案し、いつもは参加しないスポーツ活動に誘うと、Dさんはスポーツ活動を選び参加するが、活動中はあまり楽しんでいる様子が見られなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Dさんは身体を動かすことはあまり好きではないが、職員に提案され参加した。職員はDさんのためにと思い提案したが、Dさんは断ることができなかった。Dさんに対して断るという選択肢を示す配慮が足りなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -④ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-19. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑥ -⑦**

音楽サークル活動中に、聴きたい曲のリクエストをAさんに聞いた際に、普段とは異なる発言が出てきたが、上手く聞き取れず、他の職員にも聞き取れず、動画の映像を見て指差しをしてもらって曲を選んだが、Aさんの表情は変わらず、納得していない様子だった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・今までにない言葉だった為、情報が少なかった。
- ・意思確認の際に、他職員の意見も聞いてみる必要があった。
- ・職員が諦めずに、何度も確認を取る必要があった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑥ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-20. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

施設全員での散歩活動の際に、声かけを受けAさんが玄関まで来たが、出されている靴を片付けて室内へ戻った。職員を変えて再度声かけをし、外に出て歩き始めたAさんだったが、歩いている際に声出しや自傷が見られた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・「利用者全員が散歩」という事に囚われて、一度靴を片付けた行動を見せたが、散歩へ誘導した。
- ・Aさんが室内に残る事で、職員も室内にいる必要があり、職員体制を優先してしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -⑥ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-2 1. **委員会考慮ポイントカテゴリ -③ ⑨**

午後の活動において、作業を選択しているHさん。紙工作業の日は、「散歩に行きたい」「スポーツやりたい」等の発言があり、その都度「作業班だから、お仕事しましょうね」と伝えており、本人からの発言でなく、以前からの決まりを優先していた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・年度変わりや、半年の区切りで再度、本人の意思確認をするべきだった。
- ・職員の先入観で、Hさんは作業と決めすぎていた。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -③**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-2 2. **委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

コロナの関係で施設休業等もあったためか、元々自宅が好きだった利用者が出勤してすぐに「帰りたい」と訴える日が続いた。怒って他傷行為につながったり、「帰ろう」と言いながらずっと涙を流したりする様子もあった。状況に応じて早めに迎えに来ていただくこともあった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・保護者も利用者の利用中に家事等をこなされているため、保護者と利用者の気持ちが食い違っていた。
- ・本人が落ち着いて施設で活動していただけるものがなかなか発見できていない。
- ・帰りたい意思がでていたが、そのまま帰ることは意思決定でいいのか悩んでしまった。
- ・2か月間の休業から再開までの導入の流れがなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -④ -⑥ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-2 3. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -④ -⑥ ⑨**

行事で外出時、スーパーで昼食を購入する際、弁当のカレーを手にとられたため購入したが、少し口にすると「イヤ」と拒否され、ほとんど残されてしまった。スーパーでの状況としてお菓子コーナーの陳列に強くこだわる様子が見られた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本当に食べたいものがわからなかった。
- ・時間が限られており、本人のペースに合わせてあげられなかった。こちらの都合が優先された。
- ・本人の外出の目的の中に「食べる」ということがなかったのかもしれない。そのため、弁当よりもお菓子に気持ちが向いていたのではなか。
- ・職員体制の余裕があれば、本人の本来の目的を見極められたかもしれない。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -③ -④ -⑤ -⑥ -⑦ ⑨ ⑩**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-24. **委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③ -④**

自閉症 20代男性 Tさん

園の日中活動として、近くの小学校までウォーキングを行っている。ある日、歩行の仕方が足をかばうような(右足が内側になるような)歩き方でペースもいつもより遅かった。具合が悪いのか、頭痛の有無など問うと「痛くない。」の返事があったが、「足は痛くない？」の問いには無言状態で、数回確かめても「足は痛くない？」の問いには無言だった。本人との会話の中で不意に「車でお迎えですね」と言ってしまう、少しパニックになる。その後無理せずにコース変更するよう声掛けするが「小学校まで行きます。」と言い、パニック状態は続く。後方を他利用者グループと歩いていた看護師に電話連絡し、途中休憩し両足の傷の有無など確認するが特に外傷はなく筋肉痛を疑う。その後一緒に歩く職員を看護師と交代し、最後まで看護師が様子を見ながら歩くこととなった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・足の痛みへの配慮から、声掛けが多くなってしまい、職員の不意な声掛けが本人の見通しを持ってない不安要素となってしまう。
- ・「足の痛み」と「最後まで歩くという本人の強い気持ち」、どちらを優先させるべきか悩んでしまう。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -② -④ -⑧**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-25. **委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③ -⑥**

自閉症 男性 30代

施設内にてハロウィンパーティーを行うこととなり、衣装の用意を行うため2週間ほど前から準備を行っていた。パーティーの一週間前ころになると、苛立ち始め自傷や声出しが頻繁になる。初めて行う行事のため見通しが立たず不安なことが原因を思い、当日の予定を本人用のホワイトボードに書き伝え、ハロウィンを想像できるような動画を流していたが前日まで落ち着かなかった。

当日になりハロウィンパーティーを行ったが、写真撮影を行う際にすべての写真に入ろうとして静止され苛立ち自傷、声出しがあった。それまでは落ち着いて活動に参加できていた。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・初めての行事ということもあり、施設で行った写真もなくイメージができていなかった。
- ・写真撮影の際に、見てわかるように順番を提示していればよかった。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -① -⑤**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-26. **委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑧**

65歳の誕生日を控え、介護保険事業所への移行か障がい福祉事業所を継続するかを検討する際にご本人様およびご家族様が十分に制度について理解できていない状況（介護保険を利用するしかないと受け止めている）で介護保険事業所への移行が決まった。介護保険事業所移行後にご本人と面会したところ、介護保険事業所に馴染み、楽しんでいる様子だった。結果としては良かったのだが、意思決定のプロセスを考えると、ご本人様やご家族様が介護保険事業所か障がい福祉サービスの継続か、きちんと選べるよう丁寧に時間をかけて説明できれば、なお、よかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

必要に応じて障がい福祉サービスも継続して利用できる旨を丁寧に説明できなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑧**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-27. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② -③**

利用者・支援員が、ホールでコミュニケーションを取りながら昼食を摂っている。

食事中大きな声を出しテーブルを叩く等の行為がある利用者があり、複数名の利用者より「怖い」「嫌だ」等の訴えがあった。しばらくの間、我慢をしながら一緒に食べて頂いていたが、徐々に支援室で食べる利用者が増えて行った。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・利用者が大きな声を出した際、「怖い」「嫌だ」と訴えがあったが、引き続きホールで食事を摂って頂いていた。
- ・「大きな声を出す人とは別の部屋で食べたい」と要望があり、支援室で食事を摂って頂いている。利用者の中には「本当は、ホールでみんなと一緒に食事を摂りたい」と思っている利用者もあり、意思を尊重できていない

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-28. **委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑤**

対象利用者：Kさん 知的障害・統合失調症 女性 34才

9月より、当事業所を利用となったKさん。今まで、家庭にこもりがちで当事業所を利用する決め手となったのは「喫煙できる」である。契約前に、昼食代は利用毎に持参するということだった。週3日の利用希望が出ていて、慣れるまで週1回の利用とした。初回は特に問題がなく2回目の利用となった。昼食時「弁当はいらない」と言う事で理由は「お金を持ってきていないから」との。帰りの送迎で「コンビニによってタバコを買いたい」となった。相談員や家庭と確認して、お金の管理が難しく、食事よりタバコを優先するが分かった。現在はお金を家庭と事業所で連携し、週1回休みなく利用している。希望する週3日の利用については、本人を含め家庭や相談員との連携を行い進めていきたい。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・家庭・相談員との連携不足で本人や家庭の情報が足りなかった。
- ・本人の事業所利用にあたっての優先順位（活動、食事、娯楽他）が分からなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑤ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

**B-29. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑥**

食事場所在ベンチの利用者さん。ベンチから見える居室で食事を終えた他児がテレビを観始めると、居室ドアが開いていたこともあり、利用者さんは侵入してテレビをいじり、食事の手がとまっている。職員が介入し、リビングへ食事を運んで提供するも、結局食わずに下膳している。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・食べ始める際の食事場所の周囲の環境を整える必要があった。他児の居室も施錠を心掛け、落ち着いて食事ができるよう、職員間で共有していく。臨機に提供場所を変更しても良い。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑥**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

**B-30. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③ -⑥ ⑨**

登校の準備を終え、居室でテレビを観たいと要求している利用者Aさん。共有で使用している持ち運び可能なテレビだと勘違いした職員が、今はリビングにあるテレビを観るよう伝え、奇声、物を投げる等の痙攣を起している。異なる職員が介入に入ると、実は前日に持ち運び可能なテレビ1台をAさん専用の物として提供していたことが判明。居室にテレビを置くことでAさん以外の利用者さんが気にして居室に侵入してしまうのではないかと危惧した職員が、Aさんが寝た後にテレビを収納していたとのことであった。異なる職員から登校までのお約束ということでテレビを提供されたAさんは切り替わり、静かにテレビを観始めている。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・元々痙攣を持っているAさんだが、職員間での情報共有やテレビ使用に関するAさんとお約束がしっかり行われないうまま職員が対応してしまった為、前日と違う対応をされたAさんはより混乱してしまったものと考えられる。職員間での統一した支援、またAさんと事前にお約束を取り決め、それを視覚的に提示することでAさんに見通しを持って安心してもらうことが大切である。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

**B-31. 委員会考慮ポイントカテゴリ -⑥ -⑦**

学校の行き渋りのあったKさん。一日の振り返りを行い「学校・自宅での出来事、楽しかった事、次回行いたい事」を本人と確認した。翌日の過ごし方を天候や下校時刻に合わせて一緒に考える事で本人の意思が出て、当日実施出来た事への満足感や変更の切り替えが出来ていたが、周囲に他の児童がいる事で本人の気持ちが整理出来なかつたり、本人と指導員側の気持ちの開きが生じた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・指導員配置が上手く出来なかった事で、本人の気持ちに近付ける事が出来なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-3 2. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -⑤ ⑨**

変更に弱いYさん。指導員からの本人の冷静な振り返りの場や、本人の希望として一日の振り返りを行った。「楽しかった事・イライラした事」を『自宅』『学校』『事業所』の項目を作り、話好きで伝える事が上手な長所を活かし本人が振り返って口頭で話をする。最近になってその振り返りを気にするあまり、精神的に引きずってしまう事があった。継続するか中止にするかで悩んだり、本人の希望で項目を考えたものの内容は変わっておらず、意思の決定も不安定となり振り返る事を中止し、話す内容は「誰と遊びたいのか」「何をしたいのか」また、「いいないいな」と羨ましがらるだけでなく「何が良いのか」等、本人が自分で考え言葉にし、行動に移せるよう促した。また、良い事をした時には紙に残し、悪い事は口頭で伝えるのみとし、支援の内容を変更していった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・意思は出たものの、本人の意図かどうかは判断できないが相手によって話の内容が変わってしまった。
- ・振り返りのツールが逆に本人の精神的な負担になる事があった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-3 3. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -③**

発話が不明瞭なAさんと動物図鑑のどのページを読むかやりとりをしている際、図鑑の表紙を見ながら「うちいる」「ねずみ」「ぶーちゃん」といった話をしてくれた。「ねずみを見ますか？」とやりとりするが「違う」とコミュニケーションを取ることができなかった。後から母より家で飼っているねこがねずみを捕まえると情報提供を頂き理解することが出来た。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Aさんの発話が不明瞭な分、興味のあること、家庭でのできごとといった情報を家族の方と共有し、スタッフが話の内容を推測できるようにする。

**事業所判断ポイントカテゴリー -①**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-3 4. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -② -③ -⑦**

児童発達支援利用の2歳男児。好きに動き回りたく大人に注意されることを嫌う。お集りでも着席を嫌がり、床に寝そべったり部屋から出て行こうとする為、職員が椅子の後ろについて着席を促す。楽しいものがあることを知らせるが、それでも嫌がり泣いてしまう。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・注意していると思われぬような声掛けの仕方
- ・集団活動の中での過ごし方
- ・着席行為を嫌がってしまった理由

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-35. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -⑦ -⑧**

放デイ利用の高校3年男児が、自主課題に取り組んでいる最中、疲れた様子で「もういいのー」「やめたい」と言ってくる。その為、課題を減らそうとすると「やりたい！」と相反する言葉を言ってきた。迷う所だったが、そのまま取り組ませることにした。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 自閉傾向が強い方だった為、こだわりがあった。
- ・ 当日、送迎時に聞いた学校での状況や申し送りに合わせて、課題設定をすればよかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-36. 委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑦ ⑨**

幼稚園から事業所送迎で利用している男児 A くん。  
給食の時間に合わせ幼稚園へ戻る流れであったが、タイムタイマーや時間の声掛けなどはしたもののうまく遊びを切り上げられず、帰る事を拒否。  
幼稚園戻りの時間を守るため、降園の流れに乗せるが園に戻ったあと給食を食べない事があった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 遊びの時間を長く確保することが難しく満足できる環境を用意できていなかった
- ・ 十分な予告や本児の同意を得ていなかった

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑥ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-37. 委員会考慮ポイントカテゴリー -① -② -③ -⑦ ⑨**

発語があまりなく、ジェスチャーで伝えようとしてくれる A 君。帰りの会の前に麦茶を飲むが、手遊びの時間が始まるため、コップを下げる。コップを下げた職員を追いかけようとし、泣いてしまう。帰りの会のあいだ、ずっと泣いて過ごしていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 言葉で伝えられないため、意思の確認が難しかった。
- ・ 本児の意思決定を「待つ」余裕が職員側になかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-38. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③ -⑦**

Cさん(男児・学童)

登園時から機嫌が悪く、どうやら学校で思い通りにならなかった事があった様子。本日のスケジュールを示しても手で払い除けてしまう為、スケジュールの変更も可能である事を伝える。ただし、変更は可能であっても本人の思うような(取り組めるような)内容ではなかったようで、「どれもやりたくない！」とさらに機嫌を損ねてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の気持ちが切り替えられるような対応が出来なかった。
- ・本人に提示した選択肢が十分でなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③**

【本人の意思決定支援が出来た実例・成功実例】

**A-39. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -③ -⑧**

Bさん(男児・未就学)

自由遊びの時間、遊びたいおもちゃを職員に訴えて来る。発音が不明瞭であったり、まだ通い始めて間もなかったりする為、職員も本児の希望を上手く掴めない。そこで、おもちゃの写真カードを3つ見せると、アンパンマンのおもちゃの写真カードを取り、スタッフに「これ！」と言うように要求がある。実際にそのおもちゃを渡すと、嬉しそうに抱えて遊び始める。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・視覚的な情報を使い、容易に選択出来る場面が作れた。
- ・本児の要求を引き出した。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -④ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-40. 委員会考慮ポイントカテゴリ -① -② -④**

Nさんは、単語で自分の意思を伝える事が可能である。そのため「おんがく」「お水」等、要望があった際に提供を行っていたが興奮し自傷や他害をする事が続いた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の発する表面的な言葉だけで判断をしてしまった。
- ・本人の意思を知る(推測する)事が難しかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -⑤**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-4 1. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ -⑧ ⑨**

入所児童（Cさん） 余暇時間に録画した番組の視聴を希望。職員がリモコン操作し、Cさんの興味のある番組を何個か提示したが、「違う」と言われ続けた為、最終的には職員が選んだ番組を視聴することになった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・職員が本児の意思表出にじっくりと関わることができなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑦ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-4 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑥ ⑨**

入所児童（Dさん） 家族へ手紙を書く際に単語の羅列や前後の繋がりのない文章になることが多く、職員と一緒に加筆修正している。しかし職員主導のものになってしまいがちで、本当に伝えたいことを汲み取るような細やかな支援になっていない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・少ない情報から本人の伝えたいこと、書きたいことをより具体的に読み取ることが難しかった。
- ・職員は本児がわかるような言葉や単語を提案することで選択肢を広げ意思決定しやすい環境設定が必要だった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-4 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -⑤**

今年度は店舗を使用しての買い物活動が行えない代わりに施設内での買い物活動を数回行なった。その都度予算や価格の設定は職員が行なっていたが、1回目の活動では買った物が2回目は予算に合わず買えないということに怒る児童がいた。1回目とは商品の組み合わせが違うこと、他の商品を別の商品に交換すると購入出来ることを説明してもなかなか受け入れることが出来なかった。結局、一番ほしいと言っていた物を諦めて他の物を購入することとなった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・1回目と価格を同じにする等、分かりやすい設定にするべきだった。
- ・言葉での説明でなく、目で見て分かる等、児童が理解しやすい工夫をした方が良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑧**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-4 4. **委員会考慮ポイントカテゴリ -② -⑦ ⑨**

排泄が自立しておらずオムツを穿いて入所した児童。入所後1年でトイレでの排尿が定着してきたが、排便に関してはクローゼット内でオムツにすることが続いた。トイレでの排便が身に付くよう、クローゼットに入ったらトイレに誘導しお腹のマッサージをする等で排便を促したが、泣いて嫌がったり、便秘傾向になってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・トイレでの排便を定着させたいという職員の気持ちが強かった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

B-4 5. **委員会考慮ポイントカテゴリ -② -⑦ -⑧**

就労継続支援 B 型事業所で食品製造に携わる A さんは、比較的、どんな作業も出来て作業意欲も高い方である。A さんに取り組んでいただきたい作業がいくつかあったため、

「〇〇の作業と△△の作業と□□の作業のどれがやりたいですか？」と A さんに選択を委ねると、

「えっと・・・」「うーん・・・」と動きが止まってしまい、選択肢を多く与えてしまったことで A さんを困惑させてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・わかりやすい選択肢ではなく、複数の選択肢を提案してしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑧**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

B-4 6. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -③ -⑥**

就労継続支援 B 型事業所で請負作業に携わる A さん。A さんをご自宅で食事の買い物や用意などをご自身でしており、自分が好きなものをたくさん食べてしまう傾向がある。そのため、よく胃腸の不調を訴えることがあるので、毎日食べたものをメモ帳に記入していただき、職員が健康の大切さや病気になってしまうことなどをアドバイスしているが、ご本人になかなか伝わらない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・食べることが好きなこともあり実行されない。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③**

【本人の意思決定支援が困難だった事例・失敗事例】

B-4 7. **委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑤ ⑩**

周囲の利用者と仲良くしたいという思いがある A さんだが、目つきや言葉かけに陰しさがあって距離を置かれてしまっている。相手の言葉を執拗に繰り返さないこと等を職員から助言しているがなかなか上手いかず距離が縮められずにいる。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・ご本人の行動範囲が狭く、会話を発展させられない事からどうしても相手の言葉を繰り返す事がコミュニケーションになってしまっている。

・優しい言葉かけが身につく環境ではなかったと思われる。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -③ -⑥ ⑨ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-48. **委員会考慮ポイントカテゴリ -⑧ ⑨ ⑩**

父が仕事で東京に行くということで、ご家庭で3密を防止して対応できないか職員が両親に話したが難しいということで本人が出勤したくてもコロナ対策で2週間休んで頂いた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・安全確保を一番に考えての事なので本人の意思とはまた別の所にある。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -④ ⑨ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-49. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -② -⑧**

Kさんは自ら言葉を発することはほとんどないため、その都度の声掛けで「はい。」「いいえ。」などの返事や、黙って頷く様子から意思確認を行って来た。清掃作業は何度も繰り返していた作業のため、ある程度の工程はお願い出来ると思ひ、行う作業を提示して他の利用者さんの様子を見に現場を離れた。しばらくして再度Kさんの元へ戻ると、その場で立ちつくしたまま、作業も中断していた。その後、作業内容を改めて説明するとユクンと頷いて理解を示し、再び作業に取り組むことは出来た。

Kさんは、同じ作業を繰り返しコツコツ丁寧に行うことは出来ていたため、伝えた通りの流れで作業が出来ると思い込んでしまった。自分の思いを言葉にして伝える事が難しいKさんの思いを汲み取ることが出来なかった。

【配慮出来たポイント及び考察 等】

- ・作業は記憶できる工程を端的な説明で、本人の混乱が無いようにするべきだった。
- ・表情や声のトーンから本人が不安を抱いていないかを推測することが出来なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -① -② -④ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-50. **委員会考慮ポイントカテゴリ -② -⑦ ⑨**

出勤時より、表情が固く不安定さがあつたAさん。周囲に対して攻撃的な言動や態度が出ていた。

(周囲の声かけも暴言で拒否、備品や扉を蹴るなど)落ち着くように声掛けを行う。不安定さが半日続き、本人の意思も汲み取れず。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・待つ体制が足らず。時間をおいて声かけすべきだった。
- ・本人の気持ちに寄り添う姿勢が足らず。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-5 1. **委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -④ ⑨**

普段、作業への取り組みが良いBさん。手が止まりがちになったケース。週末ということもあり、本人の意思をあまり汲み取らず、一方的に無理しないよう声かけ。「はい」との返事だったが、後でゆっくり話を聞くと、別な作業希望だったとのことであった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

**事業所判断ポイントカテゴリー -④ -⑤**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-5 2. **委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -⑥ ⑨**

Sさんから希望の作業をまたやりたいと要望があった。Sさんの希望する作業は、以前取り組んだ時の作業状況で、時間がかかり力任せにパーツを押し込むことから破損の恐れがあったため今回は取り組んで頂けない旨を S 利用者さんに伝える。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・下請け作業のため不良を出す訳にはいかない状況があり、本人の作業意欲より作業能力に応じた作業の提供が優先された。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑦ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-5 3. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑥ -⑦ ⑨**

利用者Aさんは通所を始めてトイレに入る事を激しく拒み職員ではスムーズに入る事が出来ず興味を持たれているもの等準備をしてもうまくいかず職員2名でトイレに誘導しました。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・並んで多数あるトイレが苦手かもしれない為、多目的トイレを使用する。

**事業所判断ポイントカテゴリー -①**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-5 4. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ ⑨**

ダウン症のBさんは、会話はできるが自身の想いを伝えることが苦手で、家族や職員から離されたことは何でも頑張って取り組まれてしまうことがあります。職員は頑張っている、落ち着いていると認識している部分があり、本人の意思を汲み取ることがあまりできませんでした。その為、頭をかく行為や一人泣いている様子が見られるようになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・本人の意思を確認するための職員の関りが少なかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -① -② ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-55. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑥ -⑧ ⑨**

コロナウイルスのため廃油回収に行くことができず不安定になってしまう。本人はテレビや家族からコロナは危ないと認識しているが、回収に行きたいという思いが強くなると、我慢できなくなり回収に行きたいと強く訴えてくる。その都度、コロナウイルスの危険性を言葉や文字等で説明しているが、本人の意思決定を実現することができない。そのため、回収作業ではなく、BDF作業に関する他の作業や受託作業等を本人にお願いしているが、不穏になり大声を出したり、他害行為に至ることがある。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・万が一、コロナウイルスに感染してしまったら責任問題にもなることから、本人の意思であっても実現させてあげることができない。
- ・作業の見直しやコミュニケーションをとり、本人の安定を図っている。
- ・コロナが落ち着いたら、回収に行けることを繰り返し伝えている。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-56. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑤ -⑧ ⑩**

緑内障を発症し、視力が低下している。「目が見えるようにしてほしい」、「医者に行っても良くならない」等と何度も訴えてくる。目が見えなくなるという不安を少しでも緩和できるよう、本人の話を傾聴し、寄り添う支援を心がけている。病気やこれからの治療こと等を本人と話し合う機会を設けている。話し合っている時は本人は穏やかになれるが、しばらくすると、「目が見えるようにしてほしい」という思いが強くなり、不安定になってしまう。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・受診の大切さ、点眼を欠かさずに行うこと、医師の指示どおりに治療することを繰り返し伝えていくことしかできない。
- ・本人の不安を緩和できるように、訴えがあった時は話を傾聴している。

**事業所判断ポイントカテゴリー ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-57. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -⑤ -⑧**

発達障害の Aさんは他利用者の声などが気になることで、個室を希望している。施設外就労などで他利用者が外に出ている時は会議室を個室として利用できている。しかし、施設外就労がない曜日では他の個室利用希望者がいると、パニックになってしまっていた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・事前に会議室を利用する日をカレンダーなどが必要であった。
- ・事前にどの部屋が使えるか伝える必要もあった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑥ -⑧**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-58. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -④ -⑦**

Sさんは特定の作業班に属することが難しく、何かできる作業がないか職員が模索していた。

ある日、ダンボールの組立て作業に興味を示したので試しにやらせてみると、わりと上手に組立てることができた。しかし一度始めると夢中になり、歯止めが効かなくなることがわかった。

製品が不良になる可能性があったため、「10個だけ組立てましょう。終わったら向こうの席で休みましょう。」と提案し、落ち着いて少しずつやってもらうことにした。

職員がマンツーマンで付き、最初のうちは10個作ると満足して席に戻っていたが、だんだん「もっと続けてたくさんやりたい。」という気持ちになるように、歯止めが効かなくなった。言葉での制止は聞かず「やるんだ！」と大声をあげることもあった。

実際に不良が出たり、他の利用者に危険が及びそうになることがあるため、現在は作業を中断したり作業内容を変更することもある。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ Sさん本人の「やりたい」という気持ちに答えることができない状況である。
- ・ 他にSさんに合う作業を見つけられていない。
- ・ ある程度自分の行動をコントロールできるようになることが必要と思われる。作業場面のみ配慮では難しいので、まず、様々な場面で活動の始めと終わりが意識できるようまた、進め方が理解できるよう視覚的な支援を工夫したい。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑧ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-59. **委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑧ ⑨**

新規利用者、精神障害者の Kさんは利用当初から他の利用者とうまが合わず、すれ違うたびに、過去の嫌な出来事を思い出して訴えてきていた。その都度話し合いは行っていたが、「辞めたい」と話してくるようになってきている。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ 視点を変え、小さい目標から取りかかれるような話し合いが必要であった。
- ・ 本人の意思を正確に把握することの難しさを感じた。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -⑤ -⑧**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-60. **委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -⑧ ⑨**

利用者（精神・女性）パン作業を行っており、いろいろな作業をしたいと話があった。

本人にやりがいや喜びにも繋がると思い、作業の幅を広げようとしたが、本人が思うようにできずストレスになってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の状況を考えず、作業の指示をしてしまった。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー -②**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-61. **委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -⑦ ⑨**

就職ミニ面接会の話があり、就労を希望している利用者の方に確認をしたところ、利用者（知的・身体 女性）Bさんより「行きたい」との意向があった。しかし、保護者からは同意が得られず、面接会に行くことが出来なかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・面接会の話をするのが直近になり、考える時間が少なかった。
- ・本人の環境が変わることで落ち着かなくなってしまう。それを本人が理解できていない。また、保護者は環境が変わり落ち着かなくなることを恐れて心配していることを、考えずに意向の確認が先になってしまった。
- ・就職するための準備が不十分だった。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-62. **委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -⑤ ⑨**

Bさん（男性、知的障がい）

Bさんは老人介護施設で清掃の仕事をしている。本人口数少なく支援員からの質問に答える形式で実習・相談を進めていた。仕事を始めて2～3か月経ち金銭管理について質問をしたところ、本人から「もっとお小遣いがほしい。」との話が出た。詳しく聞くと、給料は母がすべて管理しているようだった。本人から母に伝えてほしいとの要望もあったため、その旨を支援員から母に伝えた。すると、母から「他人の家の金銭管理にまで口を挟まないでほしい。」との話があり、不信感を抱かせてしまった。その後、母の要望で本人への定期的な支援は中断となってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人から言葉での意思表示が少なく、母との関係性や経済的な見通しなどを立てることが困難だった。
- ・すぐに母に伝えるのではなく、もう少しお金の使い方の話に時間をかけるべきだった。
- ・相談のツールとして、表や絵など利用して金銭管理の方法や本人の要望を具体的に話した上で、母も交えて面談すれば良かった。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー -① -③ -⑥ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-6 3. **委員会考慮ポイントカテゴリ -⑥ -⑧ -⑨**

Cさん（男性、重度、知的障害）

作業時間中にCさんから「i P a dが見たい」との希望があった。それに対して作業の活動中であること、他の利用者は作業に取り組んでいることを説明し、個人的にi P a dを楽しむ時は休憩など他の時間にしましょうと伝え、利用を控えてもらった。

しばらくした後に、Cさんから「他の作業班ではi P a dを観ている人もいるのにおかしい」と話があった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ Cさんの作業時間における役割を本人に分かりやすく説明できていなかった。
- ・ i P a dを利用したい理由を詳しく聴いていれば、他の選択肢を提示することができたかもしれない。
- ・ 「他の時間にしましょう」という支援員からの提案が一方的で、本人が納得していないことに気づいていない。
- ・ 「他の作業班では観てる人もいるのにおかしい」と話があり、Cさんの心内を聴く環境が必要だった。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -① -⑥ -⑧ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-6 4. **委員会考慮ポイントカテゴリ -② -⑦ ⑨**

Dさん（女性、重度、ダウン症）

翌日に短期入所「Y事業所」の利用予定があり、Dさんに本人専用の予定表を使用して翌日の説明をした。するとDさんはY事業所の写真を払い飛ばして不機嫌になった。Dさんは今までも何度かY事業所の短期入所を利用したことがあり、保護者からその時の様子を聞き、本人も利用を楽しみにしているという話を伺っていた。そのため本人の気持ちが上向きように気分を盛り上げる対応を行った。しかし帰宅前もあまり表情が優れず、活動部屋から玄関への移動に時間を要していたため、「(明日は) お泊りですよ」と声かけした。するとDさんは「だいじょうぶ」と一言話して、玄関に移動して帰宅した。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・ DさんがY事業所の短期入所利用に対して気持ちが向いていない様子が本人の行動から伺えたが、利用予定が決まっていたため、本人の気持ちが変わるように声かけしてしまった。
- ・ 家庭の都合で利用せざるを得ない状況ではあるが、Dさんの気持ちを保護者に代弁することはできたのではないか。
- ・ Dさんの「だいじょうぶ」という言葉がどのような意味で話されたのか深く考えさせられた。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-65. 委員会考慮ポイントカテゴリ -② ⑨ ⑩**

M様は、心配性でテレビ等の情報を得ると、自分の環境に結びつけ考え過ぎてしまう面がある。また、親戚づきあいなど行いたいと思っているが、身元引受人の叔父からは、親戚を当てにせず、年齢的にも自分生活を重視して欲しいと希望されていた。しかし、テレビで台風について情報が入ると、M様から「台風で親戚が心配だから電話で安否確認と状況確認がしたい」との話があった。親戚を当てにしないようにとの叔父の話もあったが、状況（安否）確認だけとの約束で電話をした。親戚の状況確認ができ話をした後、最後に親戚の方より「今度、ご飯でも食べに行こうね」と、社交辞令の言葉があった。しかし、その言葉が気になってしまい、「いつ行くの」「いつ来てくれるの」と、その後情緒不安になってしまった。表情が悪い時期が続いてしまい、M様に親戚の方から話をして頂いたり、叔父に連絡をして状況を伝え、説明して頂いた。叔父からは、親戚を頼ることや連絡を取ることはしないよう助言を頂いた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・身元引受人から親戚を頼ることや連絡を取ることを控えるように言われていたが、本人の主張（希望）により要件を絞り対応した。しかし逆に情緒不安定な状況になってしまった。
- ・情報を収集したことをストレートに受けてしまう本人の特性を考慮することができず、社交辞令の言葉を実現することができると思い込んでしまった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

**B-66. 委員会考慮ポイントカテゴリ -③ -④ -⑧**

会津出身のSさん。入所施設を利用しており、日中は就労継続B事業所へ通い仕事をしている。環境にも慣れ能力も高く親しい友人もおり、町内のグループホームでの生活を進めると、「Y町のグループホームには行かない」と、話し興奮してしまう。頑固な性格のため、しばらくの間は気持ちが落ち着かなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・地元（会津）での生活を希望している事への配慮が足りなかった。
- ・グループホームでの生活をイメージしてもらえうような説明が足りなかった。
- ・頑固で臆病な性格のため、ゆっくりと地域移行について確認していく話の進め方の配慮が足りなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑤**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-67. **委員会考慮ポイントカテゴリー -① -④ -⑦**

買い物の際、何もカゴに入れず商品も手に取ろうとしなかった為、職員が「これはどうですか？」等助言したり商品を見せたが、それが誘導になってしまい、職員が助言したものを全てカゴに入れてしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の欲しいものを選んでいない。
- ・選択肢になれば良いと思ったが、掲示方法に工夫が必要だった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-68. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑤ -⑦ ⑨**

Aさんは一日に何度も着替えを行い、その都度衣類ケースの中も散乱させてしまうので、やらないよう声掛けをした。次第にAさんは不安定になり、奇声を発する様子が見られた。その為、しばらく行動観察をしたところ、4日目の着替えで落ち着いた。着替えを繰り返すことで、その日着用する衣類を選んでいることがわかったが、事前に行動を止めてしまったことは失敗であった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・Aさんの着替えをしたいと要求より、片付けが大変といった支援員の都合を優先してしまった。
- ・なぜ何度も着替えるのか？Aさんの気持ちを汲み取ることが困難であった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -③ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-69. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ -⑧ ⑨**

受け持っている利用者さん2人と日曜日に買い物支援に出かけた。お菓子を買うためスーパーへ行くと店内・レジがとても混んでいたため、すいていたコンビニに入店した。あらかじめ商品は触らないよう話したが、店内に入ると興奮してしまい聞く耳を持たなくなってしまった。「これ～買う～」などと言いながら商品を触ってしまうため、結果的には2人とも職員が決めたものを購入してきた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・自分で決める嬉しさを感じて頂きたかったのだが、事前の計画や店選びなど考慮不足だった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑦ -⑧ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-70. **委員会考慮ポイントカテゴリ -⑦ -⑧ ⑨**

自分の思い通りにならないと不機嫌になり大声を出したりする A さん。早めの声掛けをするも行動がマイペースで片付けにもとても時間がかかるため、本人の私物を職員が片付けることを伝えて居室へ持っていく。その日の気分で片付けられることを嫌がることもあり、その後不機嫌になってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・どのように対応することが本人にとって一番良かったのかが分からなかった。
- ・早めに声掛けなどして時間に余裕を持てれば良かった。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑩**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-71. **委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑤ -⑥**

利用者 B さんが自分の趣味の部分で購入したい物があるので「お金を下さい」と言ってきたが、貯金はほとんどなく、お金が出せない状況だったため、そのことを支援員から利用者 B さんに伝えたがなかなか理解してもらえなかった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・傾聴しながら分かりやすく説明もしたが理解してもらおうことが、難しかった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -③ -⑤ -⑥ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-72. **委員会考慮ポイントカテゴリ -② -③ -④**

自閉症の A さんに対し、生活の質を上げようと一日の流れを細かく提示したところ、A さんが混乱してしまい逆効果になってしまった。不穏になることが多くなってしまった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・職員側の思いのみが優先され、本人の生活リズムを崩してしまった点。

**事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-73. **委員会考慮ポイントカテゴリ -⑤ -⑦ -⑧**

入れ歯が必要な C さんの意思を確認し、入れ歯を作成した。下の入れ歯が合わず何度か調整を繰り返した。その間は痛みの訴えもあり、入れ歯を外して食事をしていた為、C さんの中で「入れ歯は外して食事をする」との考えが出来上がってしまい、調整直後でも入れ歯を外して摂取している。

何度も説明し理解を得ようとしたができず、現在も入れ歯を使用していない。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・最初、痛みがある中で使用させてしまった。
- ・入れ歯作成にあたり、リスクや予定についてより分かり易く繰り返し説明すべきであった。

**事業所判断ポイントカテゴリ -② -⑤ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-74. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ -⑧ ⑨**

保護者への定期連絡の時にはDさんも一緒に話す機会を設けている。

「お母さん電話いつ（するの）？」と希望あり、今日電話することを伝えた。

伝えた後にバスドライブの日であることに気が付いた。どちらもやりたいDさんだったが、最終的には電話を諦めてバスドライブに参加したが気分は晴れない様子見られた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・日課を確認せずに電話の話をしてしまった。
- ・職員が日課の確認をしていれば、Dさんをはっきりさせることはなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -⑨**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-75. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑤ -⑧ ⑨**

好きなことを見つけて 楽しい時間を過ごして欲しいと思い「やってみたい」というSさんの希望で、折り紙や塗り絵と一緒に購入したが、部屋の何処かにしまい込んだままで使用していない。声を掛けて出してみるが「いいです、忙しいです」と言って行うことは無かった。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・集団活動の中では、塗り絵も取り組んでいるので自分だけ初めての物を行うことに対する不安があったのではないかと。
- ・タイミングや環境の設定への配慮不足
- ・やらないと言う選択肢もあると言う視点がなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -⑥ -⑦**

【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

B-76. **委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑧ ⑨**

他の方からドライブの要望があり、日中活動で気分転換が図れるだろうと思いドライブ支援を実施したが、車内で不機嫌な表情で大声を出し興奮していた。

【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人は、普段より外出は好んでいない状況にあり居室などの静かな空間で音楽を聴き過ごすことを好んでいるという情報が支援に活かされなかった。
- ・結果的に、意思表出支援、意思決定支援になっていなかった。

**事業所判断ポイントカテゴリー -② -④**

## 本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-77. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② -⑦ ⑨**

グループホームに入居中のAさんは、脳性麻痺による知的障がいで区分2の男性。

普段は、就労継続支援B型事業所に通って、企業の下請け作業や環境美化の作業に取り組んでいる。

仕事熱心で、寡黙なイメージであったが、グループホーム入居中は周りの方と話す機会が増え、自分の口からやりたいことを伝える姿が多くなった。

初めは、休日の過ごし方として自販機でのジュース購入、次にコンビニでの買い物といった具合に、段階的に要望を聞き取り、一つずつ支援してきたが、徐々に支援の軸が「成功体験をすること」にシフトしてしまい、いつの間にか「次は〇〇をしてみよう」といった感じで、職員からの投げかけによりAさんの行動を導くような状態になっていた。

支援開始当初は、Aさんも「できた」という喜びが大きかったが、支援の軸が変化するとともに「次は〇〇をしなければならぬ」という方向に考えが移行してしまった。

心配性な性格も重なり、「(職員が)次は、〇〇やりなと言っていたから、いつまでにやれば良いか...」、「〇〇の準備はいつになったらやれば良いか...」と口にすることが増え、本人がやりたいという思いではなく、やらなければならないという義務感にも似た状況に陥ってしまった。

本人の思いが反映されないことに加え、計画的、段階的に支援が出来なかったことで、Aさんを困惑させてしまった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・パターンリズムによる支援が優先されてしまった。
- ・支援の要となる本人の思いを見失ってしまった。
- ・最終的なゴールが本人の思いではなく、職員が目指すゴールになってしまった。

### **事業所判断ポイントカテゴリー -② -③ -④**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-78. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑤ -⑧ ⑨**

今までは利用者さんと職員と一緒に買い物に行き、日用品や衣類を利用者さんが自分で選んで購入していたが、コロナウイルス感染予防対策のために、利用者さんの外出、買い物を控えるようになった。そのため、必要な日用品等は職員が代行し購入している。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・感染症の予防対策とはいえ、利用者さんの「自分で選ぶ」という行動を狭めてしまった。
- ・店頭で直接見て選ぶだけでなく、通販サイトを利用して欲しい物を選ぶなどの他のやり方があってもよかったのではと思う。

### **事業所判断ポイントカテゴリー -⑧ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-79. **委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑧ ⑨**

外出活動で、毎回服を購入する事を希望する利用者さん。新しい服を購入しても、以前から持っている気に入った服を着ている事が多い。今回も、外出活動で買い物に出かけた際、事前に希望を確認していたシャツと一緒に探した。店内の服を見て本人自身で希望する形・色合いのシャツを指さすが、本人に合うサイズがなかった。そのため、次回の外出活動で別の店に行ったときに再度探してみましようかと尋ねるが、「今買う」との返答がある。そこで、本人の希望に近い形・色合いでサイズの合うものを見つけて提案し、本人もそれを試着の上「これがいい」との話があり購入したが、帰所後に購入したシャツを着てみてはどうかと声掛けしても、「これ着るのね」と言いながらも一向に着る様子がなく、以前と同じ服ばかり着用している。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人のイメージする物、好みの共通点をカタログなどを使って、視覚的に共有できればよかった。また、衣類の交換のサイクルについても、話をしてお互いに考えをすり合わせる必要があった。
- ・複数店舗を一度に回る事が出来るような時間設定を考えられれば良かったかもしれない。
- ・希望の物でなく着る事が無くても、本人が「その時に、服を買う」という行為自体に満足感を得ているなら、少量で経済的に問題がない場合は、尊重しても良いのかも知れない。

### **事業所判断ポイントカテゴリー -① -⑥ -⑧ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-80. **委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -⑧ ⑨**

他の方からドライブの要望があり、日中活動で気分転換が図れるだろうと思ひドライブ支援を実施したが、車内で不機嫌な表情で大声を出し興奮していた。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人は、普段より外出は好んでいない状況にあり居室などの静かな空間で音楽を聴き過ごすことを好んでいるという情報が支援に活かされなかった。
- ・結果的に、意思表出支援、意思決定支援になっていなかった。

### **事業所判断ポイントカテゴリー -② -④**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-81. **委員会考慮ポイントカテゴリー -⑦ -⑧ ⑨**

Sさん(60代女性)と買い物に行った際、「この服買っていい?」と、自分で服を選び持ってきた。ニット素材でビーズの装飾が散りばめられており、洗濯もしづらい。また、秋の季節に着るには少し早く、鮮やかな赤色で本人さんの年齢には合っていないと職員が感じた為、「違う季節に着る服なので、今回は買うのをやめておきませんか。」と言ってしまった。本人も「そうだね」と納得し、違う服を購入していたが、たくさんある商品の中から、自分で選択することが出来たのに否定をしてしまった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・洗濯等を考慮し、職員側の利便性を優先させてしまった。

### **事業所判断ポイントカテゴリー -③ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-8 2. **委員会考慮ポイントカテゴリ -④ -⑧ ⑨**

手先が器用で、物作りが得意な利用者Kさん。職員同士の会議にて、自分で作った物をもっと多くの人に見てもらう、買ってもらう機会があると張り合いにもなるのではないかと意見が挙がった。そして、法人内にある生活介護事業所だとその機会があるのではないかと話になった。

Kさんは、元々地域で生活をしてきた経験はあるが、現在は就労や地域生活に強い拒否が見られる。まずは、Kさんにこのような事業所があることを知ってもらうことを目的にした。そこで、Kさんが大好きなパンとコーヒーを買いにその事業所へ遊びに行ってみることを伝え、同意を得て、職員と一緒に1時間程度遊びに行った。その事業所には、昔から知っている他利用者もおり、Kさんは握手をしたり笑顔が多く見られた。みんなの活動を見学し、パンとコーヒーを買って帰って来る事ができ、その場で不安定になる様子は見られなかった。

その日の午後、どうだったか本人に尋ねると「もう行かない」と手を横に振る。その後も思い出したかのように「〇〇（見学に行った事業所）には行かない」と口にしたたり、泣き叫ぶなど不安定な様子が見られた。昔からKさんを知っている職員に話を聞くと、見学に行った事業所には、昔本人と関わっていた利用者さんが多くいる場所で、握手をして笑顔で交流をしていた人たちは良好な関係ではなかった方達だったことが分かった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人がいないところで会議を持ち決めてしまった。
- ・過去の情報を職員が十分に把握していなかった。

### **事業所判断ポイントカテゴリ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-8 3. **委員会考慮ポイントカテゴリ -⑥ -⑦ -⑧**

GHに入居しているYさん。夜間の物音（同居者のトイレに起きる音、洗面所の水の音など）が気になり眠れないとの訴えがあり、トイレから遠い部屋への居室変更、洗面所の水の量を少なくして音を小さくする、耳栓を使用するといった対策を行うも訴えは変わらなかった。他のGH（アパート型）への体験利用も行い、「よく眠れた」との感想を話しても、元のGHが良いとのことで現在も元のGHで生活し、訴えは治まっていない。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・本人の意見を聞いて対応策を提示・実施するも、本人の納得する結果になっていない。
- ・本当に物音が気になるのか、別のことを伝える手段としての訴えなのか、本当の意思が確認できていない。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -②**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-8 4. **委員会考慮ポイントカテゴリ -① -③ ⑨**

トイレの際にBさんがパッドを交換してほしいとの訴えがあったが、他利用者の対応をしていた為待つように促すが、少し不穏になり「パッド交換してよ」と何度も怒って言うことがあった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・待つように促す前に相手の気持ちに共感し、理解してから待つように促すべきであった。
- ・Bさんの障がい特性に合わない声掛けをしてしまった。

### **事業所判断ポイントカテゴリ -② -⑦**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-8 5. **委員会考慮ポイントカテゴリー -③ -④ -⑤**

Hさんは生活介護事業所を利用し、GHで生活している。いろいろなCDを持っており、GHの自室で好きな音楽を聴くことを楽しんでいて、ある日突然「ヘッドフォンが欲しい」と要望してくる。それまでヘッドフォンの話が出されたことはなく、周囲の方たちに聞いても理由は不明、気持ちが変わりやすい方であるので少し様子を見ていたが、繰り返し要望が聞かれ、本当に欲しいものだと思われたので購入したが、「ほしい」と言わなくなってしまい、提供できなかった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・「ヘッドフォンが欲しい」とは言ったが、本人の本当の要望は別のことにあり、その要望が別のことで満たされたから「ヘッドフォンが欲しい」と言わなくなったのではないか
- ・なぜ欲しくなったのか、そこに至る気持ちの聞き取りまでは行わず、本人の言葉のみで提供しようとした。言葉の真意を知ろうとしなかった。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー -④**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-8 6. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② ⑨ ⑩**

以前から視力が悪く、現在は見えない状態で生活されている利用者 T さん。

周囲の環境から不安感が伴う為、体に触れられたり、不安感から突発的な顔を叩いたり、声を出す自傷行為やパニックが見られている。極力、安心した空間を提供し支援している。

Tさんは、衣類を着用する際に薄着されており、さらにシャツをズボンにしまう事が出来ない為、お腹を壊すことも多々見られていた。その為、下着をズボンにしまえるように支援してみた。支援員が本人の事を思い良かれと思い、その都度の言葉かけや事前の説明で下着をしまうが慣れない為か、その都度パニックを起こしてしまった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・支援員が良かれと思って支援したことが、Tさんにとっては不適切であった。
- ・自傷やパニックを起こしたことで、本人に苦痛を与えるという理由で、途中で支援をやめてしまった。
- ・下着をズボンに入れた際に感じる違和感を解消する支援が難しかった。

#### **事業所判断ポイントカテゴリー ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-87. **委員会考慮ポイントカテゴリー -④ -⑤ -⑥**

Hさんは、在宅から就労B事業所へ通所していたが、家族との同居が困難となり、施設へ入所した。

在宅で生活しながら就労B事業所へ通所していたこともあり、最重度の入所者が多い施設では話し相手も少なく、能力的にも身の回りのことはある程度自立されているため、本人、職員共に物足りなさがあった。

施設が属する法人で新たにグループホームを開所する計画が上がり、本人、家族の意向としてもGHへ入所し、そこから就労B事業所へ通所したいとのことで、GHへ移行する方向で話を進めていた。

しかし、本人が受給している障害年金が2級で、就労B事業所で得られる給与を足しても、GH移行後の生活費がぎりぎり、場合によっては赤字となってしまうことがわかった。

本人に、『GHへ移行して、お金を切り詰めた生活をする』のと、『このまま施設で、ある程度自由にお金を使える』のと、どちらが良いか確認すると、「お小遣いがないのは嫌だ。」と話があり、GHへの移行は諦めざるを得ないこととなった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・本人の能力や意向だけを優先させてしまい、移行後の生活シミュレーションをしっかりとしていなかったため、期待を持たせた分、結果、本人を落胆させてしまった。

・現状では、障害が中・軽度の方ほど地域生活移行がしやすい（より多くチャンスがある）と思うが、障害の程度が軽いと受給している年金が2級であることが多い。また、障害が中・軽度といってもその幅が広く、就労系の事業所に通所できるレベルではあっても、できる作業は簡単なことに限られるくらいの能力であると、そこまで高い賃金は望めず、生活費の足しにできるほどではない。

地域に出たいという希望があり、職員の見立てとしても十分に地域生活移行が可能であるのに、年金額が少ないという理由だけで実現できないのは残念でしかない。

### **事業所判断ポイントカテゴリー -⑤ ⑩**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-88. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② -⑥ ⑨**

Nさんから趣味の時間を持ちたいと話があり、一緒に相談した結果ジグソーパズルを購入することになった。購入後、楽しんで行っていたが、他者のものが気になったり、拘りのある他のお客様にピースを取られてしまい数日しか遊ぶことができなかった。ピースを取られることでトラブルに発展することや、異食につながるリスクもあり、結局パズルを提供することができなくなってしまった。

#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

・他のお客様の障害特性や関係性を優先させてしまい、本人の意思を尊重できなかった。

・集団生活であるため、他のお客様の行動等にも配慮し、Nさんが落ち着いて楽しめる環境作りができなかった。

### **事業所判断ポイントカテゴリー -③ -⑥ ⑨**

## 【本人の意思決定支援が困難だった実例・失敗実例】

### B-89. **委員会考慮ポイントカテゴリー -② -③ ⑨**

朝食後に本人から私物のコーヒーが飲みたいとの希望があったが、対応した職員が、他業務もあり少し待つて欲しい事を伝えると不機嫌な表情をしていた。しばらくすると同様の要求があり、水分補給の時間に提供するために準備しているのもう少し待つて欲しいことを伝えると、険しい表情で対応した職員を叩く蹴るといった行動が見られた。感情的で行動が激しく、周囲の利用者にも危害が及ぶ恐れがあり、離れた場所に2名の職員で誘導し、落ち着くまで職員が付き添いながら話し掛けると泣き始める。しばらく優しい言葉遣いで話し掛け続けることで落ち着きを取り戻した。その後、統一した対応により本人が戸惑ったり、不満を感じないように本人と話し合い、水分補給の時間に提供することで了承を頂いた。

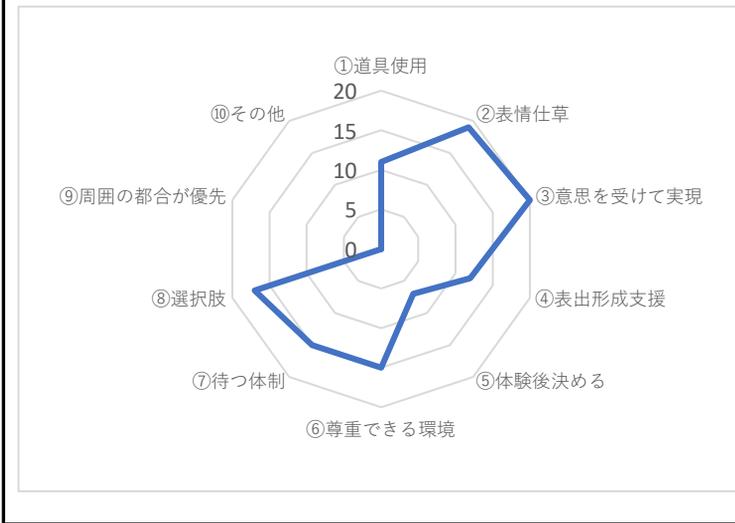
#### 【配慮が困難だったポイント及び考察 等】

- ・入所前からコーヒーが大好きで楽しみにしていることは理解していたが、「少し待つて」という曖昧な伝え方で本人に理解しやすい配慮が足りなかった。
- ・日頃からコーヒーの要求以外にも要求が多く、エスカレートして対応が困難になることを懸念し、十分な対応が行えていなかった。
- ・職員に対して、コミュニケーションボードの活用自体が不慣れだった。

### **事業所判断ポイントカテゴリー -③ ⑨**

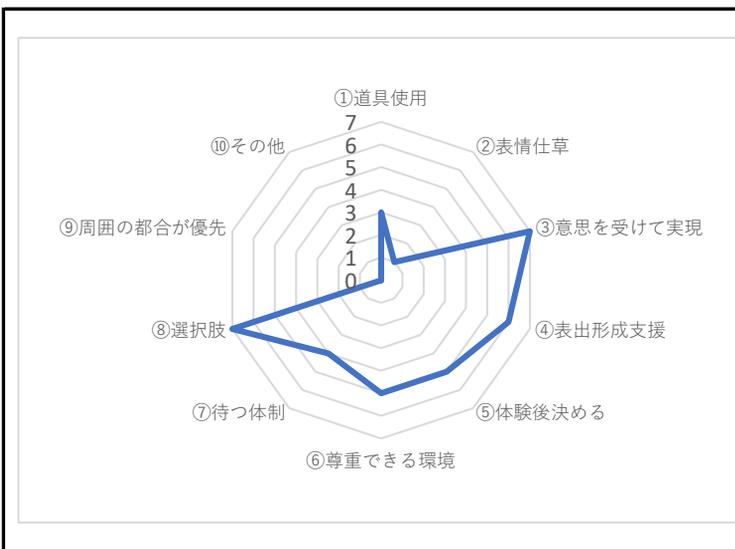
## 令和2年度 カテゴリー分類図（成功事例4系統）

### 日中活動系



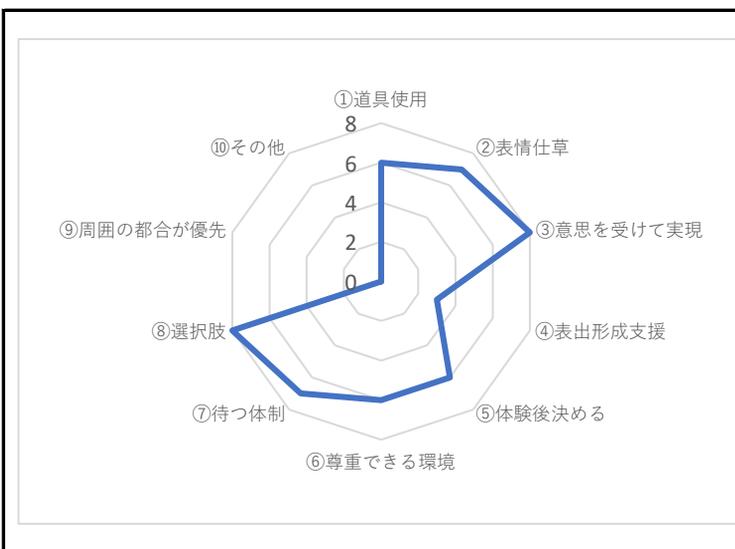
- ・③の「意思を受けて実現」が一番多い。
- ・次いで、②の「表情仕草を見て実現」が多い。
- ・⑨の「周囲の都合が優先される」が一番少ない。

### 児童系



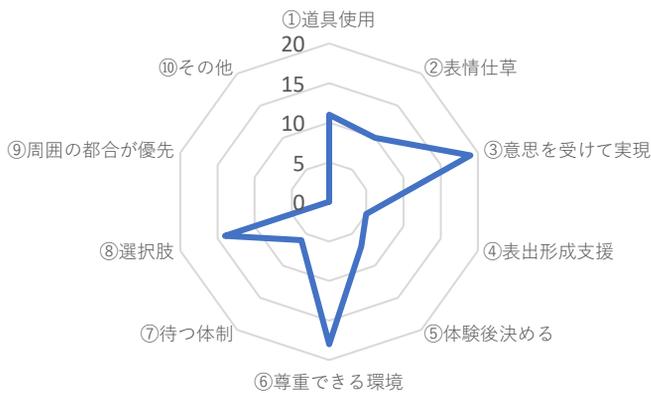
- ・③の「意思を受けて実現」が一番多い。
- ・次いで、④の「表出形成を受けて実現」が多い。
- ・⑨の「周囲の都合が優先される」が一番少ない。

### 就労系



- ・③の「意思を受けて実現」⑧の「選択肢から選んで実現」が一番多い。
- ・次いで、②の「表情仕草を見て実現」⑦の「意思決定を待つ体制がある」が多い。
- ・⑨の「周囲の都合が優先される」が一番少ない。

### 居住系



- ・③の「意思を受けて実現」が一番多い。
- ・次いで、⑧の「意思決定を尊重できる環境がある」が多い。
- ・⑨の「周囲の都合が優先される」が一番少ない。

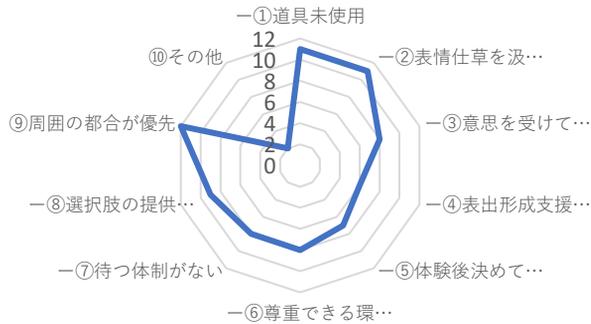


系統別カテゴリ数					
カテゴリー	日中活動系	児童系	就労系	居住系	合計
①	11	3	6	11	31
②	19	1	7	10	37
③	20	7	8	19	54
④	12	6	3	5	26
⑤	7	5	6	7	25
⑥	15	5	6	18	44
⑦	15	4	7	6	32
⑧	17	7	8	14	46
⑨	0	0	0	0	0
⑩	0	0	0	0	0

- ・日中活動系、児童系、就労系、居住系、すべてにおいて、③の「意思を受けて実現」が一番多いのが特徴的である。
- ・次点は、施設系統により多かったカテゴリー項目が違うことも特徴的である。
- ・すべての施設系統において、⑨の「周囲の都合が優先された」⑩の「その他」は0件であった。

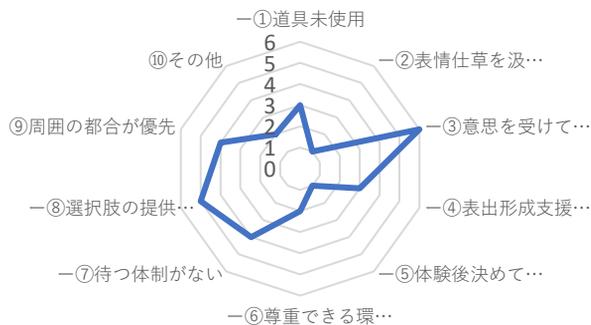
## 令和2年度 カテゴリー分類図（失敗事例4系統）

### 日中活動系



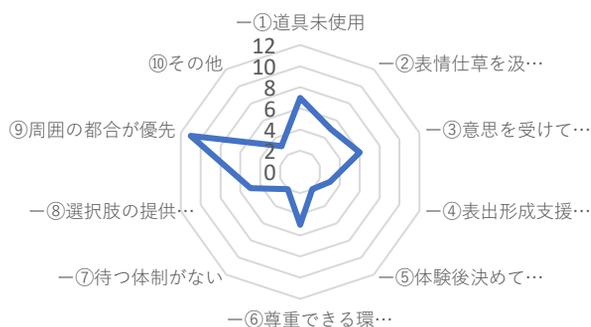
- ・⑨の「周囲の都合が優先された」が一番多い。
- ・次いで、①「意思決定のため道具未使用」、②の「表情仕草を汲み取れない」が多い。
- ・⑩の「その他」が一番少ない。

### 児童系



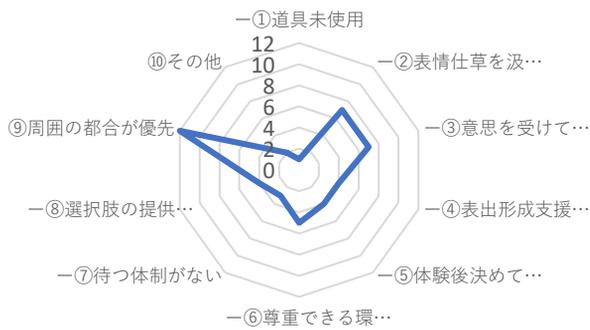
- ・③の「意思を受けて実現していない」が一番多い。
- ・次いで、⑧「選択肢の提供がない」が多い。
- ・⑩の「その他」が一番少ない。

### 就労系

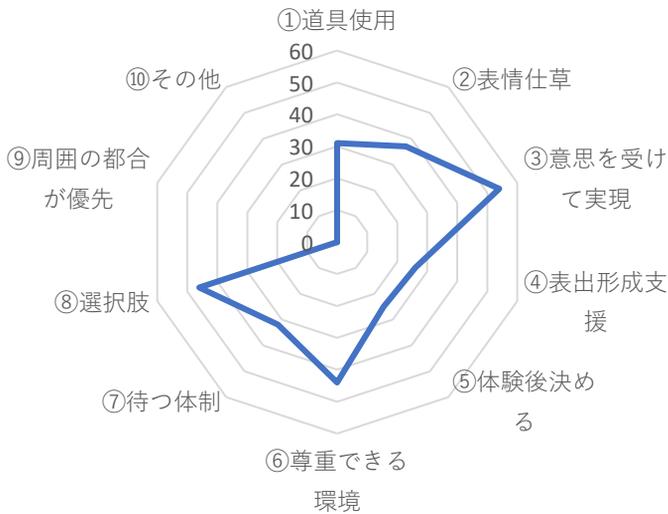


- ・⑨の「周囲の都合が優先された」が一番多い。
- ・次いで、①「意思決定のため道具未使用」が多い。
- ・⑩の「その他」が一番少ない。

### 居住系



- ・⑨の「周囲の都合が優先された」が一番多い。
- ・次いで、③「意思を受けて実現していない」が多い。
- ・⑩の「その他」が一番少ない。



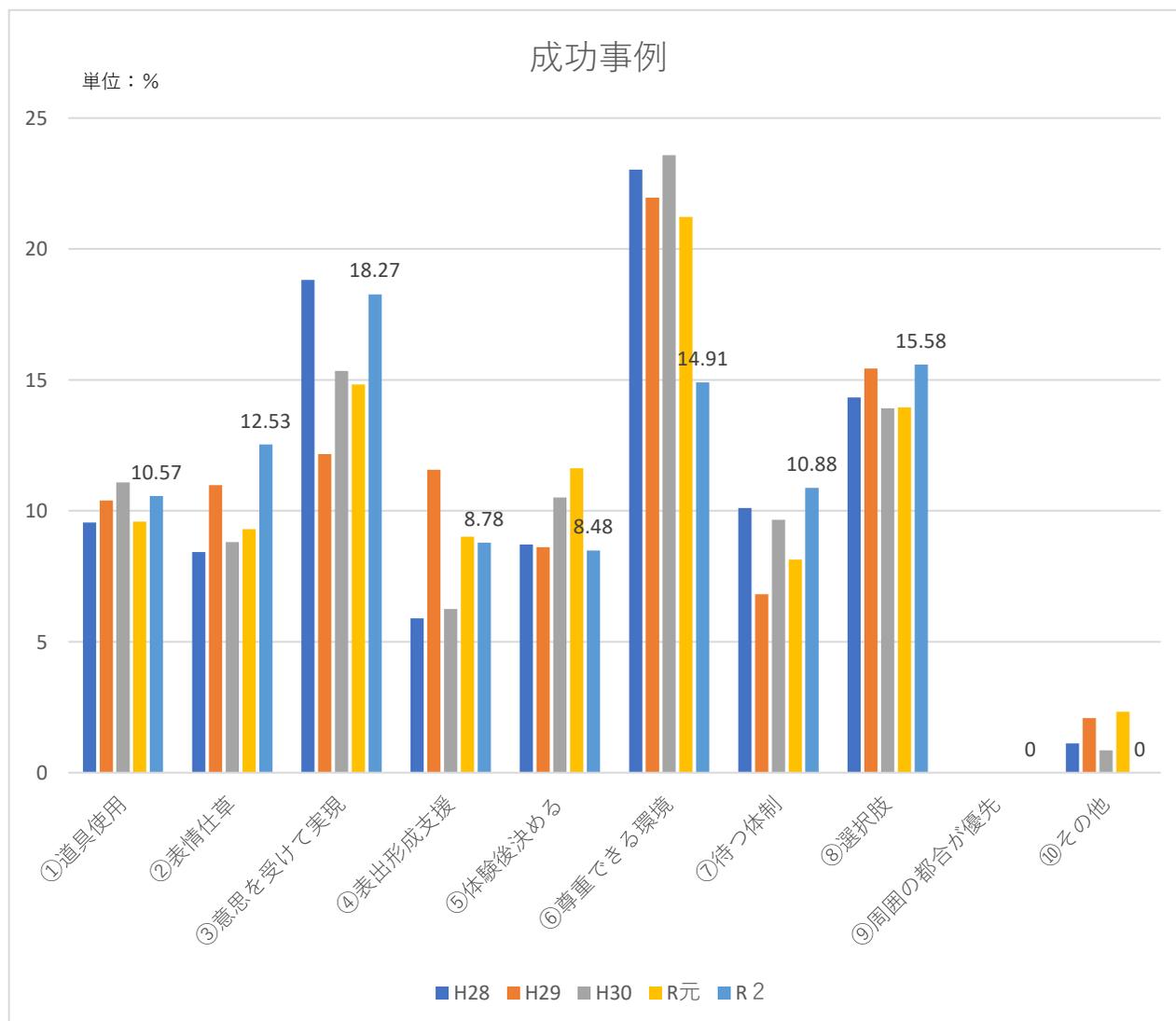
カ テ ゴ リ	日 中 活 動 系	児 童 系	就 労 系	居 住 系	合 計
①	11	3	7	1	21
②	11	1	5	7	24
③	8	6	6	7	27
④	6	3	3	4	16
⑤	7	1	2	4	14
⑥	8	2	5	5	20
⑦	8	4	2	3	17
⑧	9	5	5	4	23
⑨	12	4	11	12	39
⑩	2	2	3	2	9

#### 【全体の傾向】

- ・児童系の施設以外は⑨の「周囲の都合が優先された」が一番多い結果となっている。児童系では③の「意思を受けて実現していない」が一番多い結果となっている。
- ・全体的に③の「意思を受けて実現していない」は高い数値であった。
- ・⑩の「その他」はすべての施設系統において一番少ない項目であった。

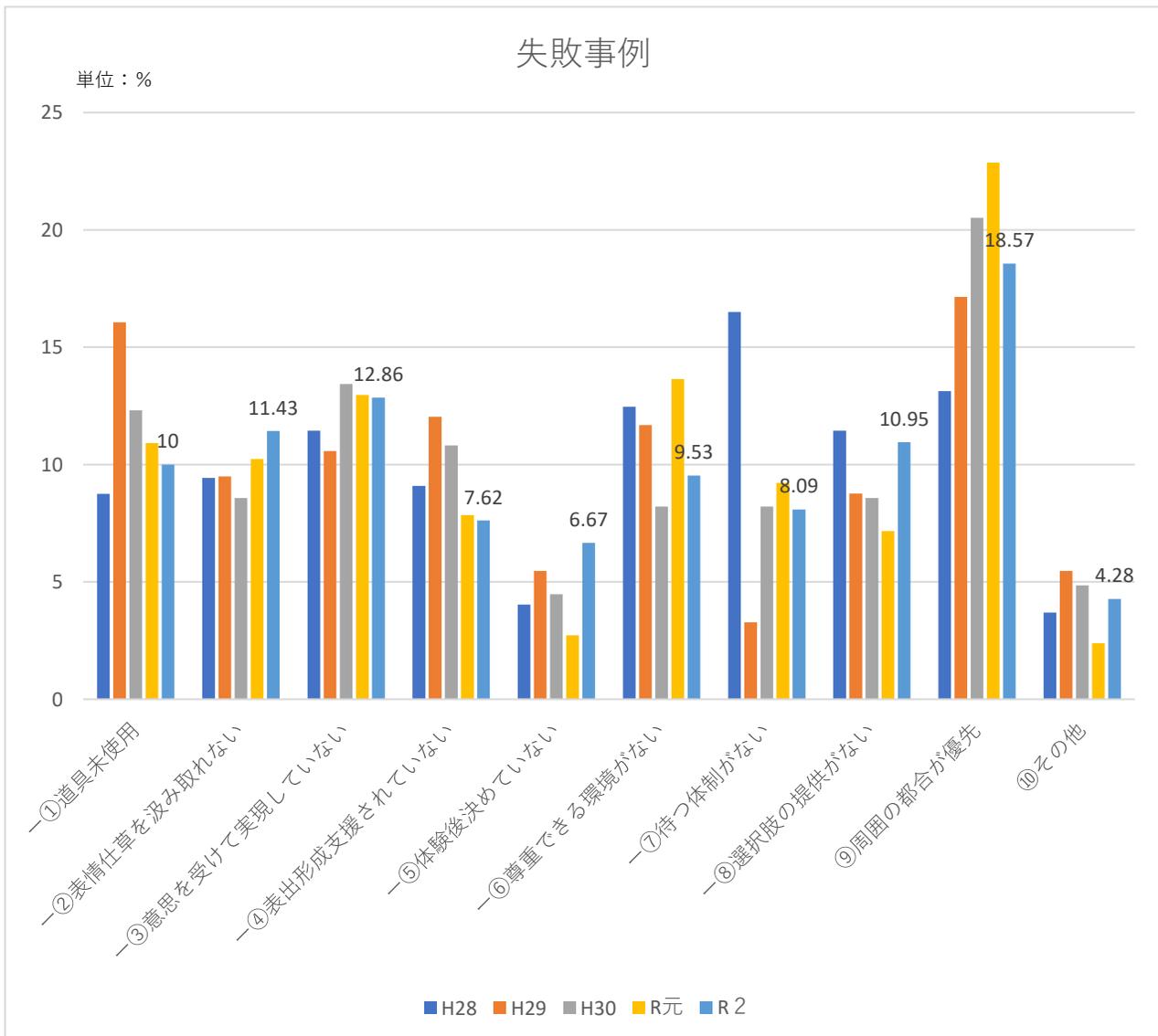
## 5年間のカテゴリー分類比較図

カテゴリー	H28	H29	H30	R元	R 2	5カ年合計	上位
①道具使用	9.55	10.39	11.08	9.59	10.57	51.18	
②表情仕草	8.43	10.98	8.81	9.3	12.53	50.05	
③意思を受けて実現	18.82	12.17	15.34	14.83	18.27	79.43	②
④表出形成支援	5.9	11.57	6.25	9.01	8.78	41.51	
⑤体験後決める	8.71	8.61	10.51	11.63	8.48	47.94	
⑥尊重できる環境	23.03	21.96	23.58	21.22	14.91	104.7	①
⑦待つ体制	10.11	6.82	9.66	8.14	10.88	45.61	
⑧選択肢	14.33	15.43	13.92	13.95	15.58	73.21	③
⑨周囲の都合が優先	0	0	0	0	0	0	
⑩その他	1.12	2.08	0.85	2.33	0	6.38	



## 5年間のカテゴリー分類比較図

カテゴリー	H28	H29	H30	R元	R 2	5カ年合計	上位
①道具未使用	8.75	16.06	12.31	10.92	10	58.04	③
②表情仕草を汲み取れない	9.43	9.49	8.58	10.24	11.43	49.17	
③意思を受けて実現していない	11.45	10.58	13.43	12.97	12.86	61.29	②
④表出形成支援されていない	9.09	12.04	10.82	7.85	7.62	47.42	
⑤体験後決めていない	4.04	5.47	4.48	2.73	6.67	23.39	
⑥尊重できる環境がない	12.46	11.68	8.21	13.65	9.53	55.53	
⑦待つ体制がない	16.5	3.28	8.21	9.22	8.09	45.3	
⑧選択肢の提供がない	11.45	8.76	8.58	7.17	10.95	46.91	
⑨周囲の都合が優先	13.13	17.15	20.52	22.87	18.57	92.24	①
⑩その他	3.7	5.47	4.85	2.39	4.28	20.69	



## 人権・倫理委員による編集後記

今年度はコロナウイルスが世界的に流行し、例年とは全く違った生活を送ることとなりました。私たちが日々携わる福祉の現場においてもまずは利用者様の安全の確保が最優先されることとなり、行事や外出、余暇活動という言葉はどこか遠くの感じてしまうようになってしまいました。いつも通りの日常を求める利用者様、その思いに少しでも寄り添いたい職員、葛藤と我慢の1年だったと思います。

このような現状の中、多くの事例を準備、用意していただきありがとうございます。皆様が用意してくださった事例1枚1枚にたくさんの「思い」を感じることができました。上手に支援ができた利用者様と喜びを分かち合う事ができた事例や、失敗により利用者様から「学び」を得た事例、様々な事例がありましたが、共通していることは利用者様に寄り添いたいという職員の「思い」です。

ですが、「思い」を形にしてくれるのはいつでも利用者の皆様です。自分以外の人的人生に寄り添うことができること、一緒に歩むことができること、それが福祉の仕事の醍醐味だと思います。

今年度の「意思決定支援事例集」は冊子ではなく、WEBでの公開となりますが、ご覧になった際はどうか利用者様の「思い」、それに寄り添う職員の「思い」に着目し見て頂ければと思います。そして、職員の皆様が現状携わっている利用者様の「思い」に寄り添うための参考にして頂ければと思います。

編集者一同

令和3年3月31日

### 福島県知的障害施設協会 人権・倫理委員会

品川 寿仁	あさかあすなろ荘	管理者	(県中地区)
馬上 政彦	みなみテラス	管理者	(いわき地区)
鈴木 繁生	のはら	管理者	(いわき地区)
蛭原 友之	サンハイツ葎ヶ入Ⅱ	サービス管理責任者	(県北地区)
篠原 愛	いわき学園	支援課長	(いわき地区)
三島木尚也	アルバ	管理者	(県中地区)
高杉 恭平	あさかあすなろ荘	生活支援員	(県中地区)
松本 真理	あさかあすなろ荘	生活支援員	(県中地区)

発行所：福島県知的障害施設協会 人権・倫理委員会事務局  
〒963-0103 福島県郡山市安積町大森町 70-1 (あすなろ荘内)  
TEL 024-945-0369 FAX 024-947-7575